



* 0026179000 *

0026179-000

CZ-421-01

産業組合関係法規

産業組合中央会・編

産業組合中央会

訂補61版

昭和9

ADF



業組合關係法規

364

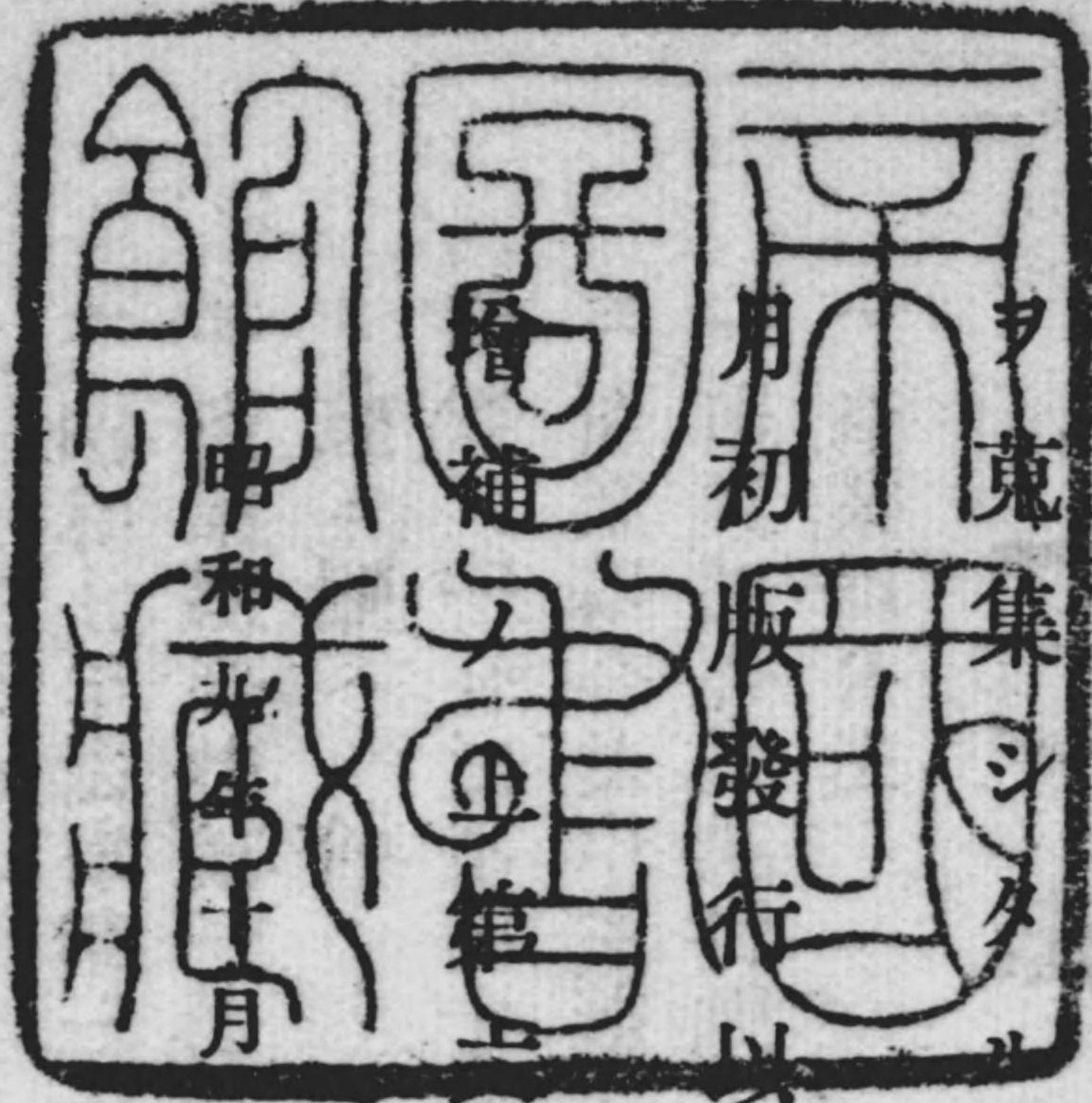
250冊



納

本

C 王
421
01



本書ハ産業組合ニ關スル法規訓令通牒等

モノニシテ明治四十年十二

月來版ヲ重ネ今茲ニ全部

十一版ヲ發行ス



産業組合中央會

364-250



農業聯合中央會



本書ハ農業聯合ニ關スル法律及施行規則ニ關スルモノナリ

一 農業組合法
二 農業組合法施行規則
三 農業組合法中主務大臣ノ行フ職務ニ關スル件
四 農業組合法第四十六條ノ二ノ規定ニ依ル拂戻準備金ノ管理ニ關スル件
五 農業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル市街地指定ノ件
六 昭和七年法律第三十號農業組合法中改正法律附則第二條ノ規定ニ依ル業組合又ハ業組合聯合會ノ組織變更ニ關スル件
七 農業組合法第一條第八項ノ規定ニ依ル利用組合ノ設備指定ニ關スル件
八 農業組合法第六條ノ三ノ規定ニ依ル主務大臣ノ職權ノ一

産業組合關係法規 目次

【一】 法 規

一 産業組合法	一
二 産業組合法施行規則	五九
三 産業組合法中主務大臣ノ行フ職務ニ關スル件	七七
四 産業組合法第四十六條ノ二ノ規定ニ依ル拂戻準備金ノ管理ニ關スル件	七九
五 産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル市街地指定ノ件	八一
六 昭和七年法律第三十號農業組合法中改正法律附則第二條ノ規定ニ依ル業組合又ハ業組合聯合會ノ組織變更ニ關スル件	八三
七 農業組合法第一條第八項ノ規定ニ依ル利用組合ノ設備指定ニ關スル件	八四
八 農業組合法第六條ノ三ノ規定ニ依ル主務大臣ノ職權ノ一	八五

目次

一

八 部委任ニ關スル件 八五

九 産業組合中央會ノ設立及事業ニ關スル件 八七

一〇 産業組合登記取扱手續 八九

一一 産業組合登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ノ請求等ニ關スル手續料ノ件 一一七

一二 産業組合ニ關スル登記事務取扱所 一一八

一三 養蠶實行組合及農事實行組合登記取扱手續 一一八

一四 農事實行組合登記簿ニ關スル手續料ノ件 一四三

一五 養蠶實行組合登記簿ニ關スル手續料ノ件 一四三

一六 農業倉庫業法 一四四

一七 農業倉庫業法施行規則 一六五

一八 昭和九年法律第一號農業倉庫業法中改正法律施行期日ノ件 一七五

一九 農業倉庫業法第一條第一項第一號ノ規定ニ依ル物品指定 一七六

ニ關スル件

二〇 農業倉庫業法第十九條第二項ノ規定ニ依ル物品指定ニ關スル件 一七六

二一 農業倉庫業法第十五條ノ規定ニ依ル命令ノ件 一七七

二二 農業倉庫獎勵規則 一七九

二三 農業倉庫建設獎勵金交付ノ特例ニ關スル件 一八二

二四 産業組合中央金庫法 一八二

二五 産業組合中央金庫法施行規則 一九四

二六 産業債券令 一九七

二七 産業組合中央金庫特別融通及損失補償法 二〇三

二八 産業組合中央金庫特別融通及損失補償法施行規則 二〇七

二九 農業動産信用法 二一〇

三〇 農業動産信用法施行期日ニ關スル件 二一八

三一 農業動産信用法施行令 二二八

三 農業動産抵當登記令	二二一
三 農業用動産抵當權實行令	二二五
三 農業用動産抵當登記取扱手續	二二七
三 農村負債整理組合法	二三一
三 農村負債整理組合法施行規則	二四五
三 農村負債整理組合法施行期日ニ關スル件	二五二
三 市町村負債整理委員會令	二五三
三 金錢債務臨時調停法	二五六
四 金錢債務臨時調停法中改正法律施行期日ノ件	二六〇
四 製絲業法抄	二六〇
四 製絲業法施行規則抄	二六四
四 蠶絲業組合法抄	二七七
四 漁業法抄	三〇一
五 漁業組合令	三一〇

四 日本勸業銀行法抄	三四五
四 農工銀行法抄	三四七
四 北海道拓殖銀行法抄	三四八
四 貯蓄銀行法抄	三四八
五 郵便貯金法抄	三四九
五 郵便貯金規則抄	三五〇
五 振替貯金ノ基本預金免除ニ關スル件	三五一
五 會計規則抄	三五一
五 所得稅法抄	三五二
五 資本利子稅法抄	三五二
五 登錄稅法抄	三五二
五 登錄稅法施行規則抄	三五四
五 印紙稅法抄	三五五
五 市制町村制施行規則抄	三五七

六〇 預金部普通地方資金融通規則	三五九
六一 預金部普通地方資金融通規則實施取扱規程	三九二
六二 簡易生命保險積立金貸付規則	三九五
六三 米穀統制法施行令抄	三九七
六四 米穀統制法施行規則抄	三九七
六五 米穀統制法ノ公定價格ニ依ル買入及賣渡心得書ノ件	三九九
六六 家畜市場法施行規則抄	四〇五
六七 水産試験場種苗拂下規則抄	四〇六
六八 種雜種卵拂下規則抄	四〇六
六九 産卵能力檢定規則抄	四〇七
七〇 農山漁村共同作業場獎勵規則	四〇八
七一 小麥増殖獎勵規則抄	四一〇
七二 米穀貯藏獎勵規則	四一二
七三 穀貯藏獎勵實施ニ關スル要綱	四一五

七四 肥料配給改善助成規則	四一七
七五 自作農創設維持補助規則抄	四二一
七六 副業獎勵規則抄	四二三
七七 林業共同施設獎勵規則抄	四二四
七八 漁業共同施設獎勵規則抄	四二五
七九 畜産共同施設獎勵規則抄	四二六
八〇 養鶏獎勵規則抄	四二七
八一 有畜農業獎勵規則抄	四二八
八二 畜産物販賣斡旋及受託販賣獎勵規則抄	四二九
八三 製絲業共同施設獎勵規則抄	四三〇
八四 共同繭倉庫及共同乾繭裝置助成規則	四三〇

【二】 訓令、通牒及處分例

一 産業組合及産業組合聯合會取扱心得	四三九
--------------------	-----

二 産業組合及産業組合聯合會財産目録、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案様式ニ關シ通牒ノ件	四七四
三 財産目録ノ様式ニ關スル件	五一八
四 市制第六條ノ市ニ準スル市ノ區ノ區域ヲ超ユル産業組合ノ設立許可ニ關スル件	五一九
五 農村協同組織ノ徹底ニ關スル件	五二〇
六 農山漁村經濟更生計畫樹立方針ニ關スル通牒抄	五二一
七 産業組合法改正ニ關スル件	五三〇
八 産業組合ノ業務取締ニ關スル件	五三二
九 産業組合ノ同業組合加入ニ關スル件	五三三
一〇 公共團體ノ意義ニ關スル件ニ付通牒	五三三
一一 印紙稅ニ關スル主稅局通牒	五三四
一二 産業組合事務所ニ對シ家屋稅賦課ノ件通牒	五三五
一三 産業組合ノ自治監査ニ於ケル書類ニ對シ印紙稅法適用ニ	五三六

關スル件	
一四 府縣カ住宅供給ヲ目的トスル産業組合ノ有スル抵當權ヲ擔保トスル附記登録稅ニ關スル件	五三七
一五 産業組合及産業組合聯合會ノ登記名義人ノ表示ノ變更ノ登記ニ關スル件	五三九
一六 産業組合加入申込書ノ印紙稅ニ關スル件	五四一
一七 副業團體ニ關スル件	五四二
一八 産業組合設立報告ニ關スル件	五四三
一九 産業組合設立許可取消ノ件	五四四
二〇 定款ノ規定上注意スヘキ事項ノ件	五四四
二一 異例ニ屬スル定款規定ニ關スル件	五四九
二二 産業組合名稱ニ關スル件	五五一
二三 事務所ノ位置ニ關スル件	五五一
二四 取次所ニ關スル件	五五一

- 二五 保證責任組織ノ組合ニ於ケル保證ノ方法ニ關スル件 五五二
- 二六 保證責任組織ノ組合ニ於ケル損失分擔ニ關スル規定ノ件 五五二
- 二七 行政區劃變更ノ場合ニ於ケル産業組合ノ區域ニ關スル件 五五三
- 二八 事務所ノ地番變更ニ關シ登記囑託方ノ件 五五四
- 二九 農事實行組合ノ名稱ニ關スル件 五五六
- 三〇 組合員ノ資格ニ關スル件 五五六
- 三一 「獨立ノ生計」ノ意義ニ關スル件 五五七
- 三二 地主カ販賣組合ニ加入スルノ件 五五七
- 三三 兼營組合ニ加入スル件 五五八
- 三四 出資拂込ニ關スル件 五五八
- 三五 出資ノ第一回拂込金額ニ關スル件 五五八
- 三六 出資第一回拂込金額ニ關スル件 五五九
- 三七 加入豫約者ノ貯金ニ關スル件 五五九
- 三八 組合員ノ出資口數減少ニ關スル件 五五九

- 三九 出資一口ノ金額減少ニ依ル持分拂戻ノ件 五六〇
- 四〇 脱退ノ豫告ニ關スル件 五六〇
- 四一 「隱居」ヲ脱退ノ原因ト爲ス旨ノ定款ニ關スル件 五六〇
- 四二 脱退ノ禁止ニ關スル件 五六一
- 四三 脱退事由ノ制限ニ關スル件 五六一
- 四四 産業組合法附則第三條ニ關スル疑義ノ件 五六二
- 四五 持分讓渡ノ承諾ニ關スル件 五六三
- 四六 持分ニ關スル件 五六四
- 四七 産業組合ノ理事及監事ノ資格ニ關スル件 五六四
- 四八 理事ノ選舉區及選任方法ニ關スル件 五六五
- 四九 産業組合理事又ハ清算人選任ニ關スル件 五六五
- 五〇 監事ノ被選資格ニ關スル件 五六六
- 五一 監事ノ職務權限ニ關スル件 五六六
- 五二 産業組合ニ支配人ヲ置キ得ルヤ否ヤノ件 五六六

- 三 定款變更ニ關スル總會又ハ總代會招集通知事項ノ件 五六七
- 四 代理議決權制限ニ關スル件 五六七
- 五 書面表決ニ關スル件 五六八
- 六 產業組合法第二十三條ノ權利ノ制限ニ關スル件 五六八
- 七 產業組合ニ於テ監事カ招集セル總會ノ範圍並官選清算人ノ解任手續ニ關スル件 五六八
- 八 出資額ニ對スル特別配當ニ關スル件 五七〇
- 九 貯金額ニ應シ特別配當ヲ爲スノ件 五七〇
- 一〇 特別配當金ニ關スル件 五七一
- 一一 產業組合法施行規則第五條ニ關スル件 五七一
- 一二 準備金ノ用途ニ關スル件 五七二
- 一三 產業組合ノ積立金若ハ餘裕金ノ運用又ハ管理方法トシテノ信託預金ニ關スル件 五七二
- 一四 產業組合カ會社ノ株式引受ニ關スル件 五七三

- 一五 有限責任全國購買組合聯合會ノ滿洲化學工業株式會社株式取得ニ關スル件 五七四
- 一六 產業組合ノ資金管理運用ニ關スル件 五七五
- 一七 昭和三年度耕地整理事業及產業組合地方資金融通條件ニ關スル件 五七六
- 一八 產業組合中央金庫特別融通及損失補償法ニ關スル件 五七六
- 一九 信用組合經由中小商工農業者等ニ對スル資金融通ニ關スル件 五七七
- 二〇 市街地信用組合ノ目的ニ關スル件 五七八
- 二一 煙草耕作人信用組合設立ニ關スル件 五七九
- 二二 貯金獎勵ノ爲抽籤法ニ依リ割増金附與ニ關スル件 五八〇
- 二三 販賣組合事業ニ關スル件 五八〇
- 二四 販賣組合ノ販賣方法ニ關スル件 五八一
- 二五 販賣組合ニ於ケル醬油釀造ニ關スル件 五八二

- 五八三 生絲販賣組合設立ニ關スル件
- 五八三 乾繭販賣組合ト製絲組合ニ關スル件
- 五八四 産業組合法中加工ノ意義ニ關スル件
- 五八五 蠶種製造業者ノ販賣組合設立ニ關スル件
- 五八六 産業組合法中疑義ニ關スル件
- 五八六 購買組合ニ於ケル肥料取扱ニ關スル件
- 五八七 購買組合ノ事業執行ニ關スル件
- 五八七 産業組合カ稚蠶ノ共同飼育ヲ爲スノ件
- 五八八 酒釀造販賣購買生産組合設立ノ件
- 五八八 購買組合度量衡器販賣免許ノ件
- 五八九 購買組合ノ煙草供給方ニ關スル件
- 五八九 産業組合ノ賣藥並藥品取扱ニ關スル件
- 五九二 産業組合ノ施設スル電氣工作物ニ關スル件
- 五九五 利用組合事業上ノ疑義ニ關スル件

- 五九六 産業組合法第一條第七項ノ事業ヲ行フ利用組合ニ水道布設許可ニ關スル件
- 五九七 利用組合ト看做サレタル生産組合ノ名稱變更登記ニ關スル件
- 五九九 醫療事業ヲ行フ産業組合ノ事業報告書提出ニ關スル件
- 五九九 醫療事業ヲ行フ産業組合及産業組合聯合會事業報告書ニ關スル件
- 六〇七 産業組合解散命令ニ對スル訴願ノ件
- 六〇八 産業組合聯合會カ借入ヲ爲ス場合ニ其ノ所屬組合又ハ聯合會カ保證スルノ件
- 六〇八 聯合會ノ理事監事ニ關スル件
- 六〇九 購買組合聯合會ヲ鹽元賣捌人ニ指定ノ件
- 六一〇 農業倉庫及聯合農業倉庫取扱心得
- 六一二 農業倉庫事業報告書様式

- 一〇〇 農業倉庫業法中改正ニ關スル件 六二八
- 一〇一 農業倉庫業法中ニ於ケル穀物ノ意義ニ關スル件 六三一
- 一〇二 農業倉庫業者ハ精米ヲ爲スヲ得ルヤ否ヤニ關スル件 六三一
- 一〇三 農業倉庫運送取扱ニ關スル件 六三二
- 一〇四 農業倉庫業經營認可ニ關スル件 六三三
- 一〇五 市區町村ノ農業倉庫業ニ關スル件 六三四
- 一〇六 農業倉庫業ヲ經營セムトスル公益法人ノ設立許可及公益法人ニ對スル農業倉庫業認可ニ關スル件 六三四
- 一〇七 産業組合カ共同シテ農業倉庫業經營ニ關スル件 六三五
- 一〇八 町村農會ニ於テ農業倉庫ヲ經營スル場合ニ於テ特ニ注意ヲ要スル事項ニ關スル件 六三六
- 一〇九 農會カ農業倉庫業ヲ經營スル場合ニ於テ會則中現在役員外ニ役員ヲ置キ權限ヲ附與スルノ件 六三七
- 一一〇 農會カ農業倉庫業ヲ經營スル場合ニ於テ特別會計トナシ 六三七

テ特ニ一般會計ノ其年度ヲ異ニスルノ可否ニ關スル件
 一一 農業倉庫業ヲ經營スルノ目的ヲ以テ公益法人ヲ設立シ農業倉庫業以外ノ事業ヲモ併セ行フヲ得ルヤ否ヤニ關スル件 六三八

- 一二 農業倉庫保管物及倉庫建物ノ火災保險ニ關スル件 六三九
- 一三 農業倉庫建築ニ關スル件 六四〇
- 一四 農業倉庫及聯合農業倉庫建設獎勵金ニ關スル件 六四九
- 一五 農業倉庫及聯合農業倉庫建設獎勵金ニ關スル件 六五二
- 一六 農業倉庫建設低利資金融通ニ關スル件 六五六
- 一七 農業倉庫ヲ米穀取引所ノ受渡場所ニ指定ノ件 六五八
- 一八 共同繭倉庫ニ製絲事業ヲ認ムルノ件 六五九
- 一九 米穀貯藏獎勵ニ關スル件 六六一
- 二〇 貯藏穀ニ關スル件 六六四
- 二一 糶検査施行ニ關スル件 六六六

- 二三 糶検査施行ニ關スル件 六六七
- 二三 糶貯藏倉庫ノ建設又ハ借入ニ對スル獎勵金ニ關スル件 六六八

【三】 定款例

- 一 保證責任・無限責任何々信用販賣購買利用組合定款 六七一
- 二 保證責任何々信用組合定款(市街地信用組合ニ關スルモノ) 六九〇
- 三 保證責任何々信用販賣購買利用組合農業倉庫業務規程 六九九
- 四 聯合農業倉庫業務規程 七〇五
- 五 何々農事實行組合規約 七一六

【四】 中央機關定款

- 一 産業組合中央會定款 七二五
- 二 産業組合中央金庫定款 七三六
- 三 保證責任全國購買組合聯合會定款 七五二

- 四 保證責任大日本生絲販賣組合聯合會定款 七六七
- 五 保證責任全國米穀販賣購買組合聯合會定款 七八六
- 六 全國産業組合製絲組合聯合會會則 八一三

【二】

法

規

企圖スル爲左ノ目的ヲ以テ設立スル社團法人ヲ謂フ

二

一 組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト(信用組合)

二 組合員ノ生産シタル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ賣却スルコト(販賣組合)

三 産業又ハ經濟ニ必要ナル物ヲ買入レ之ニ加工シ若ハ加工セスシテ又ハ之ヲ生産シテ組合員ニ賣却スルコト(購買組合)

四 組合員ヲシテ産業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト(利用組合)

信用組合ハ組合員外ノ者ニシテ組合加入ノ豫約ヲ爲シタルモノノ出資一口ノ金額及出資一口ニ付定款ノ定ムル所ニ依リ加入ニ關シ拂込ムヘキ金額ノ合計額ニ達スル迄ノ貯金ヲ取扱フコトヲ得

信用組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員ニ對シ其ノ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者、公共團體又ハ營

利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコトヲ得
市又ハ主務大臣ノ指定スル市街地カ組合ノ區域ニ屬スル信用組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員ニ對シ其ノ産業若ハ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ノ爲手形ノ割引ヲ爲シ又ハ前二項ノ貯金ノ外組合ノ區域内ニ居住スル組合員外ノ者ノ貯金ヲ取扱フコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル貯金ハ有限責任組合ニ在リテハ出資總額及準備金其ノ他ノ積立金ノ額ノ合計、保證責任組合ニ在リテハ之ニ保證金額ヲ加ヘタル合計、無限責任組合ニ在リテハ出資總額ノ五倍及準備金其ノ他ノ積立金ノ額ノ合計ヲ超エ之ヲ受入ルルコトヲ得ス

第四項ノ規定ニ依リ手形ノ割引又ハ貯金ノ取扱ヲ爲ス信用組合ハ第一項第二號乃至第四號ノ事業ヲ兼ヌルコトヲ得ス

利用組合ノ設備ハ組合員ノ利用ニ支障ナキ場合ニ限り組合員タルコトヲ得サル者ヲシテ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ利用セシムルコトヲ得

前項ノ設備ハ勅令ヲ以テ之ヲ指定ス

四

第二條 産業組合ノ組織ハ無限責任、有限責任及保證責任ノ三種トス但シ有限責任タルコトヲ得ル組合ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ限ル

- 一 前條第四項ノ信用組合ニシテ定款ノ定ムル所ニ依リ同條第一項第二號乃至第四號ノ事業ヲ兼ネサルモノ
 - 二 定款ノ定ムル所ニ依リ經濟ニ必要ナル物ノミヲ取扱フ購買組合ニシテ前條第一項第一號若ハ第二號ノ事業又ハ同條同項第四號ノ事業中産業ニ必要ナル設備ヲ利用セシムル事業ヲ兼ネサルモノ
- 無限責任組合ニ在リテハ組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於テ組合員ノ全員カ連帶無限ノ責任ヲ負擔シ、有限責任組合ニ在リテハ組合員ノ全員カ其ノ出資額ヲ限度トシテ責任ヲ負擔シ、保證責任組合ニ在リテハ組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於テ組合員ノ全員カ其ノ出資額ノ外一定ノ金額

ヲ限度トシテ責任ヲ負擔ス

第三條 産業組合ノ住所ハ其ノ主タル事務所ノ所在地ニ在ルモノトス

第四條 産業組合ノ名稱中ニハ其ノ組織及目的ヲ示スヘキ文字ヲ用フヘシ

産業組合ニ非スシテ其ノ名稱中ニ産業組合タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用フルコトヲ得ス

第五條 産業組合ニハ本法ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外商法及商法施行法中商人ニ關スル規定ヲ準用ス

第六條 産業組合ニハ所得稅、營業收益稅及營業稅ヲ課セス

第六條ノ二 命令ノ定ムル所ニ依ル産業組合ノ住宅ノ建設、購入若ハ住宅用地ノ取得又ハ組合ト組合員トノ間ニ於ケル住宅若ハ其ノ用地ノ所有權移轉ニ關シテハ地方稅ヲ課スルコトヲ得ス

第六條ノ三 本法中地方長官トアルハ區域カ道府縣ノ區域ヲ超ユル産業組合ニ付テハ之ヲ主務大臣トス

前項ノ規定ニ依ル主務大臣ノ職權ノ一部ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第一章 設立

第七條 産業組合ハ七人以上ニ非サレハ之ヲ設立スルコトヲ得ス

第八條 組合ノ設立者ハ定款ヲ作り之ヲ主タル事務所所在地ノ地方長官ニ差出シ設立ノ許可ヲ請フヘシ

第九條 定款ニハ本法ニ規定アルモノヲ除クノ外左ノ事項ヲ記載シ設立者之ニ署名捺印スヘシ

一 目的

二 名称

三 組織

三ノ二 區域

四 事務所

五 出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法

五ノ二 保證責任組合ニ在リテハ保證金額ニ關スル規定

六 第一回拂込ノ金額

七 剩餘金處分及損失分擔ニ關スル規定

八 準備金ノ額及其ノ積立ノ方法

九 組合員タル資格ニ關スル規定

十 組合員ノ加入及脱退ニ關スル規定

十一 組合ノ目的タル事業ノ執行ニ關スル規定

十二 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由

信用組合ノ區域ハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外市町村ノ區域内ニ

於テ之ヲ定ムヘシ

第十條 産業組合ハ其ノ組合員ノ數ヲ限定スルコトヲ得ス

第十條ノ二 法人ハ産業組合ノ組合員タルコトヲ得ス但シ農事實行組合、養蠶實行組合其ノ他命令ヲ以テ定ムル法人ハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ法人ノ産業組合ノ組合員ト爲ルニ付必要ナル事項ハ命令

ヲ以テ之ヲ定ム

第十條ノ三 農事實行組合ハ一定ノ地區内ノ農業者ヲ以テ之ヲ組織シ組合員ノ共同ノ利益増進ヲ圖ルヲ以テ目的トス

農事實行組合ハ法人トス

第十條ノ四 蠶絲業組合法第二十條乃至第二十六條及第四十一條ノ規定ハ農事實行組合ニ之ヲ準用ス

蠶絲業組合法第二十條 養蠶實行組合ハ其ノ名稱中ニ養蠶實行組合ナル文字ヲ用フヘシ

養蠶實行組合ニ非サルモノハ其ノ名稱中ニ前項ニ掲クル文字ヲ用フルコトヲ得ス

同第二十一條 養蠶實行組合ヲ設立スルニハ其ノ地區内ノ養蠶者七人以上設立者ト爲リ規

約ヲ作成スルコトヲ要ス

規約ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ設立者之ニ署名又ハ記名捺印スルコトヲ要ス

一 目的
二 名稱
三 地區

四 事務所ノ所在地

五 組合員ノ加入及脱退ニ關スル規定

六 事業及其ノ執行ニ關スル規定

七 役員ニ關スル規定

八 組合費其ノ他會計及資産ニ關スル規定

九 損失分擔ニ關スル規定

十 組合カ公告ヲ爲ス方法

十一 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由

同第二十二條 養蠶實行組合ハ其ノ設立ノ日ヨリ二週間以内ニ規約、役員ノ氏名及住所並

ニ設立ノ年月日ヲ具シ行政官廳ニ之ヲ届出ツヘシ

前項ノ規定ニ依リ届出テタル事項ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ日ヨリ二週間以内ニ

之ヲ届出ツヘシ

同第二十三條 養蠶實行組合ハ其ノ設立ノ日ヨリ二週間以内ニ主タル事務所ノ所在地ニ於

テ設立ノ登記ヲ爲スヘシ

登記スヘキ事項左ノ如シ

一 第二十一條第二項第一號、第二號及第四號ニ掲クル事項ニ掲クル事項

二 事務所

産業組合法

三 設立ノ年月日

四 理事ノ氏名及住所

前項ニ掲クル事項ニ變更アリタルトキハ二週間以内ニ其ノ登記ヲ爲スヘシ

同第二十四條 本法ニ依リ登記スヘキ事項ハ其ノ登記前ニ在リテハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

同第二十五條 養蠶實行組合カ本法ニ基キテ爲ス登記ニ付テハ登録税ヲ課セス

同第二十六條 民法第三十八條第一項、第四十四條、第四十八條、第五十條乃至第六十六條、第六十八條乃至第七十條及第七十二條乃至第八十二條並ニ非訟事件手續法第三十五條、第三十六條、第三十七條ノ二、第十七條、第一百九條乃至第二百二十二條、第三百十六條乃至第三百三十八條、第四百十二條、第四百十三條、第四百十七條乃至第五百十條、第五百十條ノ三乃至第五百五十七條及第七十五條乃至第七十七條ノ規定ハ養蠶實行組合ニ之ヲ準用ス但シ民法第四十八條及第七十條中一週間トアルハ之ヲ二週間トス

同第四十一條 養蠶實行組合ノ理事、監事又ハ清算人左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ五圓以上二百圓以下ノ過料ニ處ス

一 本法ニ依ル届出ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

二 本法ニ依ル登記ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

三 行政官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隠蔽シタルトキ

四 本法ニ依ル總會ノ招集ヲ怠リタルトキ

五 組合ノ目的ニ非サル事業ヲ爲シタルトキ

六 本法ニ依リ事務所ニ備ヘ置クヘキ書類ヲ備ヘス、其ノ書類ニ記載スヘキ事項ヲ記載

セス若ハ不正ノ記載ヲ爲シ又ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ閲覧ヲ拒ミタルトキ

七 本法ニ違反シテ破産ノ宣告ヲ請求セサルトキ

八 本法ニ依ル公告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ

九 清算ノ場合ニ於テ本法ニ違反シテ辨濟ヲ爲シ又ハ組合財産ノ分配ヲ爲シタルトキ非

訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ之ヲ準用ス

第十條ノ五 組合員タル法人カ其ノ財産ヲ以テ債務ヲ完済スルコト能

ハサル場合ニ於テハ法人ノ組合員ノ全員ハ其ノ法人カ産業組合ニ對

シ負擔スル一切ノ債務ニ付連帶無限ノ責任ヲ負擔ス

第十條ノ六 組合員タル法人ハ其ノ組合員カ脱退シタルトキハ遲滞ナ

ク産業組合ニ之ヲ通知スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ脱退シタル組合員モ亦其ノ通知ヲ爲スコトヲ得

第十條ノ七 組合員タル法人ノ組合員カ其ノ法人ヨリ脱退シタル場合

ニ於テハ脱退シタル組合員ハ前條ノ脱退ノ通知前ニ生シタル法人ノ産業組合ニ對スル債務ニ付其ノ脱退ノ通知後二箇年間第十條ノ五ノ規定ニ依ル責任ヲ負擔ス

第十條ノ八 組合員タル法人ニ加入シタル組合員ハ其ノ加入前ニ生シタル法人ノ産業組合ニ對スル債務ニ付テモ亦第十條ノ五ノ規定ニ依ル責任ヲ負擔ス

第十一條 出資一口ノ金額ハ均一ニ之ヲ定ムヘシ
出資一口ノ金額ノ最高限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條 組合カ其ノ設立ノ許可ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク各組合員ヲシテ第一回ノ拂込ヲ爲サシムヘシ

第十三條 前條ノ拂込アリタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スヘシ

第十四條 登記スヘキ事項左ノ如シ
一 第九條第一號乃至第五號及第十二號ニ掲ケタル事項

二 設立許可ノ年月日

三 理事及監事ノ氏名、住所

前項ニ掲ケタル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ登記ヲ爲スヘシ
登記前ニ在リテハ其ノ變更ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第十五條 行政區劃又ハ土地ノ名稱ノ變更アリタルトキハ登記簿ノ記載ハ變更セラレタルモノト看做ス但シ其ノ記載ヲ更正スルコトヲ妨ケス

第十六條 民法第四十五條第二項、第三項及第四十八條ノ規定ハ期間ヲ除クノ外産業組合ニ之ヲ準用ス

民法第四十五條ノ第二項及第三項(第一項ヲ略ス)

法人ノ設立ハ其主タル事務所ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス

法人ノ設立ノ後新ニ事務所ヲ設ケタルトキハ一週間内ニ登記ヲ爲スコトヲ要ス

同第四十八條 法人カ其事務所ヲ移轉シタルトキハ舊所在地ニ於テハ一週間内ニ移轉ノ登

記ヲ爲シ新所在地ニ於テハ同期間内ニ第四十六條第一項ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ要ス

同一ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ事務所ヲ移轉シタルトキハ其ノ移轉ノミノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第十六條ノ二 第十二條ノ拂込アリタルトキハ組合ハ二週間内ニ其ノ

旨ヲ地方長官ニ届出テ同時ニ組合原簿ヲ提出スヘシ

前項ノ規定ニ依ル届出及提出アリタルトキハ地方長官ハ遲滞ナク各事務所所在地ノ登記所ニ設立ノ登記ヲ囑託シ且主タル事務所所在地ノ登記所ニ組合原簿ヲ送付スヘシ

第十六條ノ三 第十四條第一項ニ掲ケタル事項中ニ變更ヲ生シタルト

キハ組合ハ二週間内ニ變更ノ登記ヲ爲スヘキ事項ヲ地方長官ニ届出ツヘシ但シ登記ノ事由カ地方長官ノ認可其ノ他ノ處分ニ因リテ生シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依ル届出アリタルトキハ地方長官ハ遲滞ナク各事務所

所在地ノ登記所ニ登記ノ囑託ヲ爲スヘシ前項但書ノ場合亦同シ

第十六條ノ四 組合ハ主タル事務所ノ移轉又ハ組織變更ノ登記ニ關スル届出ヲ爲スト同時ニ組合原簿ヲ地方長官ニ提出スヘシ但シ同一ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ事務所ヲ移轉シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

地方長官ハ主タル事務所所在地ノ登記所ニ前項ノ登記ヲ囑託スルト同時ニ組合原簿ヲ送付スヘシ

第十六條ノ五 組合原簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 出資ノ總口數
 - 二 拂込ミタル出資ノ總額
 - 三 無限責任組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名、住所
 - 四 保證責任組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名、住所及保證金額
- 登記所ノ受理シタル組合原簿ハ之ヲ登記簿ノ一部ト看做シ其ノ記載ハ之ヲ登記ト看做ス

第十四條第二項及第十五條ノ規定ハ組合原簿ニ之ヲ準用ス

第十六條ノ六、第十六條ノ三ノ規定ハ組合原簿ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタル場合ニ之ヲ準用ス

組合員ノ加入ノ場合ニ於テハ無限責任組合ニ在リテハ加入者ノ氏名及住所ヲ、保證責任組合ニ在リテハ加入者ノ氏名住所及保證金額ヲ記載シタル組合原簿ヲ加入ノ日ヨリ二週間内ニ地方長官ニ提出シ地方長官ハ遲滯ナク之ヲ主タル事務所所在地ノ登記所ニ送付スヘシ
組合原簿ニ記載シタル事項ノ變更ノ届出又ハ組合原簿ノ提出ハ前二項ノ規定ニ拘ラス其ノ事業年度ノ終ヨリ二週間内ニ之ヲ爲スコトヲ得但シ組合員ノ脱退又ハ保證金額ノ減少ニ付テハ總組合員ノ同意ヲ以テ定款ニ之ヲ定メタル場合ニ限ル

第三章 組合員ノ權利義務

第十七條 組合員ハ出資一口以上ヲ有スヘシ
組合員ノ有スヘキ出資口數ハ三十口ヲ超ユルコトヲ得ス但シ特別ノ

事由アルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ五十口迄之ヲ増加スルコトヲ得

第十八條 組合員ハ組合ニ拂込ムヘキ出資額ニ付相殺ヲ以テ組合ニ對抗スルコトヲ得ス

第十九條 組合員ハ組合ノ承諾アルニ非サレハ其ノ持分ヲ讓渡スコトヲ得ス

組合員ニ非サル者ニシテ持分ヲ讓受ケムトスルトキハ加入ノ例ニ依ルヘシ

第二十條 組合員ハ持分ヲ共有スルコトヲ得ス

第二十一條 持分ノ讓受人ハ其ノ持分ニ付讓渡人ノ權利義務ヲ承繼ス

第二十二條 新ニ組合ニ加入シタル組合員ハ其ノ加入前ニ生シタル組合ノ債務ニ付テモ亦責任ヲ負擔ス

第二十三條 組合員ハ總組合員五分ノ一以上ノ同意ヲ得テ總會ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ招集ヲ理事ニ

請求スルコトヲ得

第二十四條 組合員ニシテ總會ノ招集手續又ハ其ノ決議ノ方法カ法令又ハ定款ニ違背スト認ムルトキハ決議ノ日ヨリ一箇月内ニ其ノ決議ノ取消ヲ地方長官ニ請求スルコトヲ得

第四章 管 理

第二十五條 産業組合ニハ理事及監事ヲ置クヘシ

理事及監事ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ組合設立ノ當時ノ理事及監事ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第二十六條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條 理事又ハ監事ハ何時ニテモ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ解任スルコトヲ得

第二十八條 理事及監事ノ選任及解任ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テ之ヲ決ス但シ定款ニ別段ノ定アルト

キハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條 理事ハ定款及總會ノ決議録ヲ各事務所ニ備ヘ置キ且組合員名簿ヲ主タル事務所ニ備ヘ置クヘシ
組合員及組合ノ債權者ハ前項ニ掲ケタル書類ノ閲覧ヲ求ムルコトヲ得

第二十九條ノ二 組合員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 各組合員ノ氏名、住所
- 二 各組合員ノ出資口數
- 三 各組合員ノ拂込ミタル金額及其ノ拂込ノ年月日
- 四 出資各口ノ取得ノ年月日
- 五 保證責任組合ニ在リテハ各組合員ノ保證金額

第三十條 理事ハ通常總會ノ會日ヨリ一週間前ニ財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案ヲ監事ニ提出シ且之ヲ主タル事務所ニ備フヘシ

組合員及組合ノ債權者ハ前項ニ掲ケタル書類ノ閲覧ヲ求ムルコトヲ得

第三十一條 理事ハ前條第一項ニ掲ケタル書類及監事ノ意見書ヲ通常總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第三十一條ノ二 産業組合カ其ノ組合員ニ對シテ爲ス通知又ハ催告ハ組合員名簿ニ記載シタル組合員ノ住所又ハ其ノ者カ組合ニ通知シタル住所ニ宛ツルヲ以テ足ル

前項ノ通知又ハ催告ハ通常其ノ到達スヘカリシ時ニ到達シタルモノト看做ス

第三十一條ノ三 理事ハ少クトモ毎事業年度一回通常總會ヲ開クコトヲ要ス

第三十二條 民法第四十四條第一項、第五十二條第二項、第五十三條乃至第五十五條及第六十一條第一項ノ規定ハ産業組合ノ理事ニ之ヲ準用ス

民法第四十四條第一項 法人ハ理事其他ノ代理人カ其職務ヲ行フニ付他人ニ加ヘタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

同第五十二條第二項 理事數人アル場合ニ於テ定款又ハ寄附行爲ニ別段ノ定ナキトキハ法人ノ事務ハ理事ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

同第五十三條 理事ハ總テ法人ノ事務ニ付キ法人ヲ代表ス但定款ノ規定又ハ寄附行爲ノ趣旨ニ違反スルコトヲ得ス又社團法人ニ在リテハ總會ノ決議ニ從フコトヲ要ス

同第五十四條 理事ノ代理權ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

同第五十五條 理事ハ定款、寄附行爲又ハ總會ノ決議ニ依リテ禁止セラレサルトキニ限り特定ノ行爲ノ代理ヲ他人ニ委任スルコトヲ得

同第六十一條第一項 社團法人ノ理事ハ必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ臨時總會ヲ召集スルコトヲ得

第三十三條 監事ハ理事其ノ他組合ノ事務員ト相兼ヌルコトヲ得ス
第三十四條 民法第五十九條ノ規定ハ産業組合ノ監事ニ之ヲ準用ス

民法第五十九條 監事ノ職務左ノ如シ

一 法人ノ財産ノ狀況ヲ監査スルコト

産業組合法

- 二 理事ノ業務執行ノ狀況ヲ監査スルコト
- 三 財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付キ不整ノ賤アルコトヲ發見シタルトキハ之ヲ總會又ハ主務官廳ニ報告スルコト
- 四 前號ノ報告ヲ爲ス爲メ必要アルトキハ總會ヲ招集スルコト

第三十四條ノ二 理事缺ケタルトキハ總會ノ招集ハ監事之ヲ行フ

理事カ第二十三條ノ規定ニ依ル請求アリタル日ヨリ二週間内ニ正當ノ事由ナクシテ總會招集ノ手續ヲ爲ササルトキハ監事ハ其ノ總會ヲ招集スヘシ

第三十五條 組合カ理事ト契約ヲ爲ス場合ニ於テハ監事組合ヲ代表ス組合ト理事トノ間ノ訴訟ニ付テモ亦同シ

第三十六條 總會ノ議決ハ本法又ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席シタル組合員ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

第三十七條 組合員ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席ト看做ス但シ組合員ニ非サレハ代理人タルコトヲ得

ス

代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ差出スヘシ

第三十八條 民法第六十二條、第六十四條、第六十五條第一項及第六十六條ノ規定ハ産業組合ニ之ヲ準用ス

民法第六十二條 總會ノ招集ハ少クトモ五日日前ニ其會議ノ目的タル事項ヲ示シ定款ニ定メタル方法ニ從ヒテ之ヲ爲スコトヲ要ス

同第六十四條 總會ニ於テハ第六十二條ノ規定ニ依リテ豫メ通知ヲ爲シタル事項ニ付テノ議決ヲ爲スコトヲ得但定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

同第六十五條第一項 各社員ノ表決權ハ平等ナルモノトス

同第六十六條 社團法人ト或社員トノ關係ニ付キ議決ヲ爲ス場合ニ於テハ其社員ハ表決權ヲ有セス

第三十八條ノ二 組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ定款ヲ以テ總會ニ代ハルヘキ總代會ヲ設クルコトヲ得

總會ニ關スル規定ハ前項ノ總代會ニ之ヲ準用ス但シ總代會ニ於テハ

解散及合併ノ決議ヲ爲スコトヲ得ス

第三十九條 定款ノ變更ハ總會ノ決議ニ依ルヘシ

第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

定款ノ變更ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第四十條 組合カ出資一口ノ金額ノ減少ノ決議ヲ爲シタルトキハ其ノ

決議ノ日ヨリ二週間内ニ財産目錄及貸借對照表ヲ作ルヘシ

組合ハ前項ノ期間内ニ其ノ債權者ニ對シ異議アラハ一定ノ期間内ニ

之ヲ述フヘキ旨ヲ定款ノ定ムル方法ニ從ヒテ公告シ且知レタル債權

者ニ各別ニ之ヲ催告スヘシ但シ其ノ期間ハ二箇月ヲ下ルコトヲ得ス

第四十一條 債權者カ前條第二項ノ期間内ニ出資ノ減少ニ對シテ異議

ヲ述ヘサリシトキハ之ヲ承認シタルモノト看做ス

債權者カ異議ヲ述ヘタルトキハ組合ハ之ニ辨濟ヲ爲シ又ハ相當ノ擔

保ヲ供スルニ非サレハ出資ヲ減少スルコトヲ得ス

第四十二條 前二條ノ規定ハ保證責任組合カ組合員ノ保證金額ヲ減少

スル場合ニ之ヲ準用ス

第四十三條 組合員カ其ノ出資ノ拂込ヲ終ル迄ハ之ニ配當スヘキ剩餘

金ハ其ノ拂込ニ充ツヘシ但シ取扱ヒタル物ノ數量、價額其ノ他事業

ノ分量ニ對シテ配當スヘキ剩餘金ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

組合員ニ配當スヘキ剩餘金又ハ持分ノ計算ニ付テハ計算ノ基礎トナ

ルヘキ金額ニシテ計算上不便ナル端數金額ハ之ヲ切捨ツルコトヲ得

第四十四條 組合ハ損失ヲ填補シタル後ニ非サレハ剩餘金ノ處分ヲ爲

スコトヲ得ス

剩餘金配當ニ關スル制限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十五條 組合ハ第五十三條ノ場合ヲ除クノ外持分ノ拂戻ヲ爲スコ

トヲ得ス

第四十六條 組合ハ定款ヲ以テ定メタル準備金ノ額ニ達スル迄毎事業

年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ積立ツヘシ

第四十六條ノ二 信用組合ハ第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ノ總額ノ

四分ノ一以上ノ金額ヲ拂戻準備金トシテ勅令ノ定ムル所ニ依リ管理
スヘシ

前項ノ金額ハ事業年度ニ從ヒ毎六箇月末日現在ノ貯金總額ニ依リ之
ヲ定ム

第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ヲ爲シタル者ハ第一項ノ拂戻準備金
ノ上ニ先取特權ヲ有ス

第四十六條ノ三 有限責任又ハ保證責任ノ信用組合カ第一條第四項ノ
規定ニ依ル貯金ニ關スル債務ヲ完済スルコト能ハサルトキハ各理事
連帶シテ之ヲ辨済スルノ責ニ任ス

前項ノ規定ニ依ル理事ノ責任ハ其ノ退任前ノ債務ニ付退任ノ登記後
二箇年間仍存續ス

第四十七條 組合ノ事業年度ハ一箇年トス但シ定款ヲ以テ六箇月ト爲
スコトヲ得

第四十八條 組合ハ組合員ノ持分ヲ取得シ又ハ質權ノ目的トシテ之ヲ

受クルコトヲ得ス

第四十八條ノ二 組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ定款ニ違反シタル組合
員ニ對シ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第五章 加入及脱退

第四十九條 組合員ノ加入ハ無限責任組合ニ在リテハ總組合員ノ同意
アルコトヲ要ス

前項ノ同意ニ付テハ組合ハ總組合員ニ對シ加入ニ異議アラハ二週間
ヲ下ラサル一定ノ期間内ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ催告スルコトヲ得此ノ
場合ニ於テ其ノ期間内ニ異議ヲ述ヘサル者ハ同意ヲ爲シタルモノト
看做ス

第五十條 定款ヲ以テ組合ノ存立時期ヲ定メタルト否トヲ問ハス組合
員ハ六箇月前ニ豫告ヲ爲シ事業年度ノ終ニ於テ脱退スルコトヲ得但
シ第四十七條但書ノ規定ニ依リ事業年度ヲ六箇月ト爲シタル組合ニ
在リテハ豫告ハ三箇月前ニ之ヲ爲スヲ以テ足ル

前項ノ豫告期間ハ定款ヲ以テ之ヲ延長スルコトヲ得但シ二箇年ヲ超
ユルコトヲ得ス

第五十一條 組合員ハ左ノ事由ニ因リテ脱退ス

一 組合員タル資格ノ喪失

二 死亡

三 破産

四 禁治産

五 除名

第五十二條 除名ノ事由ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム

除名ハ總會ノ決議ニ依ル但シ除名シタル組合員ニ其ノ旨ヲ通知スル

ニ非サレハ之ヲ以テ其ノ組合員ニ對抗スルコトヲ得ス

第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

第五十三條 脱退シタル組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ持分ノ全

部又ハ一部ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得

第五十四條 脱退シタル組合員ノ持分ハ其ノ退脱シタル事業年度ノ終

ニ於ケル組合財産ニ依リテ之ヲ定ム但シ定款ノ定ムル所ニ依リ脱退

當時ノ財産ニ依リテ之ヲ定ムルコトヲ得

第五十五條 持分ノ拂戻ハ事業年度ノ終ヨリ三箇月内ニ之ヲ爲スヘシ

但シ前條但書ノ場合ニ於テハ脱退ノ時ヨリ三箇月内ニ之ヲ爲スヘシ

持分拂戻ノ請求權ハ前項ノ期間經過ノ後二箇年間之ヲ行ハサルニ因

リテ消滅ス

第五十六條 持分ノ計算ヲ爲スニ當リ組合財産ヲ以テ組合ノ債務ヲ完

済スルニ足ラサルトキハ脱退シタル組合員ハ其ノ負擔ニ歸スヘキ損

失額ヲ拂込ムヘシ

第五十七條 脱退シタル組合員カ組合ニ對スル債務ヲ完済スル迄ハ組

合ハ其ノ持分ノ拂戻ヲ停止スルコトヲ得

第五十八條 無限責任組合及保證責任組合ニ在リテハ脱退シタル組合

員ハ脱退前ノ組合債權者ニ對シ其ノ脱退ヲ組合原簿ニ記載シタル後

二箇年間責任ヲ負擔ス
前項ノ規定ニ依ル期間ハ總組合員ノ同意アルトキハ定款ヲ以テ之ヲ延長スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ延長シタル期間ハ第一項ノ規定ニ違背セサル限り之ヲ短縮スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第四十條及第四十一條ノ規定ヲ準用ス

前三項ノ規定ハ持分ヲ讓渡シタル組合員ニ之ヲ準用ス

第六章 監督

第五十九條 産業組合ハ主務大臣、地方長官及北海道支廳長之ヲ監督ス

第六十條 監督官廳ハ何時ニテモ理事又ハ清算人ヲシテ組合ノ事業、財産又ハ清算事務ニ關スル報告ヲ爲サシメ組合ノ事業、財産又ハ清算事務ノ狀況ヲ検査シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

監督官廳ハ組合清算ノ場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ組合ニ對シ其ノ財産ノ供託ヲ命スルコトヲ得

第六十條ノ二 理事ノ缺ケタル爲損害ヲ生スル虞アルトキハ地方長官ハ假ニ理事ヲ選任スルコトヲ得

第六十一條 組合ノ事業又ハ組合財産ノ狀況ニ依リ其ノ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキ又ハ組合ノ行爲カ定款若ハ法令ニ違背シ其ノ他公益ヲ害スルノ虞アルトキハ主務大臣又ハ地方長官ハ總會ノ決議ヲ取消シ理事、監事若ハ清算人ノ改選ヲ命シ、組合ノ事業ヲ停止シ又ハ組合ヲ解散スルコトヲ得

第七章 解散

第六十二條 組合ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

- 一 定款ニ定メタル事由ノ發生
- 二 總會ノ決議
- 三 組合ノ合併

四 組合員カ七人未滿ニ減シタルトキ

五 組合ノ破産

第二十八條ノ規定ハ解散及合併ノ決議ニ之ヲ準用ス但シ無限責任組合カ合併セムトスルトキ又ハ保證責任組合若ハ有限責任組合カ合併ニ因リテ組織變更ト同一ノ結果ヲ生スヘキトキハ其ノ合併ニ付總組合員ノ同意アルコトヲ要ス

第六十二條ノ二 組合定款ニ定メタル存立時期ノ滿了ニ因リテ解散シタル場合ニ於テハ組合員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ組合ヲ繼續スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ存立時期滿了ノ日ヨリ一箇年内ニ認可ヲ申請スルコトヲ要ス
前項ノ繼續ニ同意セサル組合員ハ組合繼續ノ時ニ於テ脱退シタルモノト看做ス

第六十三條 組合カ解散シタルトキハ合併及破産ノ場合ヲ除クノ外各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第十四條第二項及第十六條ノ三ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十三條ノ二 合併ニ因リテ組合ヲ設立スル場合ニ於テハ定款ノ作成其ノ他設立ニ關スル行爲ハ各組合ニ於テ選任シタル者共同シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第二十八條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル選任ニ之ヲ準用ス

第六十四條 第四十條及第四十一條ノ規定ハ合併ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十五條 總會ノ決議ニ因ル解散又ハ合併ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第六十六條 組合カ合併ヲ爲シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ合併後存續スル組合ニ付テハ變更ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因リテ消滅シタル組合ニ付テハ解散ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因リテ設立シタル組合ニ付テハ設立ノ登記ヲ爲スヘシ

第十六條ノ三ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十七條 合併後存續スル組合又ハ合併ニ因リテ設立シタル組合ハ

合併ニ因リテ消滅シタル組合ノ権利義務ヲ承継ス
第六十八條 組合ハ總組合員ノ同意ヲ以テ其ノ組織ヲ變更スルコトヲ得

組合カ組織變更ニ因リ組合員ノ責任ヲ減少スルトキハ第四十條及第四十一條ニ定メタル手續ヲ爲スヘシ

第六十九條 民法第七十條ノ規定ハ産業組合ノ解散ニ之ヲ準用ス

民法第七十條 法人カ其債務ヲ完済スルコト能ハサルニ至リタルトキハ裁判所ハ理事者ノ

ハ債權者ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産ノ宣告ヲ爲ス

前項ノ場合ニ於テ理事ハ直チニ破産宣告ノ請求ヲ爲スコトヲ要ス

第八章 清算

第七十條 清算人ハ其ノ職務ノ範圍内ニ於テ理事ト同一ノ権利義務ヲ有ス

第七十一條 清算人ハ就職後遲滯ナク組合財産ノ現況ヲ調査シ財産目錄及貸借對照表ヲ作り之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第七十二條 清算人ハ組合ノ債務ヲ辨濟シ又ハ辨濟ニ必要ナル金額ヲ供託スルニ非サレハ組合財産ヲ分配スルコトヲ得ス

第七十三條 清算事務カ終リタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作り之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第七十三條ノ二 清算人タル者ナキ時又ハ清算人ノ缺ケタル爲損害ヲ生スル虞アルトキハ地方長官ハ清算人ヲ選任スルコトヲ得

第七十三條ノ三 重要ナル事由アルトキハ地方長官ハ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第七十四條 清算人ノ選任アリタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ氏名、住所ヲ登記スヘシ

第十四條第二項及第十六條ノ三ノ規定ハ清算人ニ關スル登記ニ之ヲ準用ス

第七十四條ノ二 清算結了シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スヘシ



第十六條ノ三ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十五條 民法第七十三條、第七十四條及第七十八條乃至第八十一條ノ規定ハ産業組合ノ清算ニ之ヲ準用ス

民法第七十三條 解散シタル法人ハ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ其清算ノ結了ニ至ルマテ尙ホ存續スルモノト看做ス

同第七十四條 法人カ解散シタルトキハ破産ノ場合ヲ除ク外理事其清算人ト爲ル但定款若クハ寄附行爲ニ別段ノ定アルトキ又ハ總會ニ於テ他人ヲ選任シタルトキハ此限ニ在ラス

- 一 現務ノ結了
- 二 債權ノ取立及債務ノ辨濟
- 三 殘餘財産ノ引渡

清算人ハ前項ノ職務ヲ行フ爲メニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲スコトヲ得

同第七十九條 清算人ハ其就職ノ日ヨリ二个月内ニ少クトモ三回ノ公告ヲ以テ債權者ニ對シ一定ノ期間内ニ其請求ノ申出ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ要ス但其期間ハ二个月ヲ下ルコトヲ得ス

前項ノ公告ニハ債權者カ期間内ニ申出ヲ爲ササルトキハ其債權ハ清算ヨリ除外セラルヘ

キ旨ヲ附記スルコトヲ要ス但清算人ハ知レタル債權者ヲ除外スルコトヲ得ス

清算人ハ知レタル債權者ニハ各別ニ其申出ヲ催告スルコトヲ要ス

同第八十條 前條ノ期間後ニ申出テタル債權者ハ法人ノ債務完済ノ後未タ歸屬權利者ニ引渡ササル財産ニ對シテノミ請求ヲ爲スコトヲ得

同第八十一條 清算中ニ法人ノ財産カ其債務ヲ完済スルニ不足ナルコト分明ナルニ至リタルトキハ清算人ハ直チニ破産宣告ノ請求ヲ爲シテ其旨ヲ公告スルコトヲ要ス

清算人ハ破産管財人ニ其事務ヲ引渡シタルトキハ其任ヲ終ハリタルモノトス
本條ノ場合ニ於テ既ニ債權者ニ支拂ヒ又ハ歸屬權利者ニ引渡シタルモノアルトキハ破産管財人ハ之ヲ取戻スコトヲ得

第九章 産業組合聯合會及産業組合中央會

第七十六條 産業組合聯合會ハ左ノ目的ヲ以テ之ヲ設立スルコトヲ得

- 一 所屬組合ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト(信用組合聯合會)
- 二 所屬組合ノ賣却スル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ賣却スルコト(販賣組合聯合會)

三 所屬組合ノ購買スル物ヲ買入レ之ニ加工シ若ハ加工セスシテ又
 ハ之ヲ生産シテ所屬組合ニ賣却スルコト(購買組合聯合會)
 四 所屬組合ヲシテ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト(利用組合聯合會)

産業組合聯合會ハ産業組合又ハ産業組合聯合會ヲ以テ之ヲ構成ス但
 シ信用組合聯合會ハ同種ノ事業ヲ行フ聯合會ヲ以テ、販賣組合聯合
 會ハ同種ノ事業ヲ行ハサル産業組合又ハ産業組合聯合會ヲ以テ之ヲ
 構成スルコトヲ得ス

第七十六條ノ二 信用組合聯合會ハ日本勸業銀行、日本興業銀行、北
 海道拓殖銀行、農工銀行又ハ産業組合中央金庫ニ對シ所屬組合又ハ
 所屬聯合會ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得
 前項ノ規定ニ依リ債務ノ保證ヲ爲シタルトキハ信用組合聯合會ハ銀
 行又ハ産業組合中央金庫ノ委任ヲ受ケ其ノ債權ノ取立ヲ爲スコトヲ
 得

第七十六條ノ三 道府縣ヲ區域トスル信用組合聯合會ハ定款ノ定ムル
 所ニ依リ所屬組合又ハ所屬聯合會ニ對シ手形ノ割引ヲ爲スコトヲ得

第七十七條 産業組合聯合會ハ社團法人トス
 産業組合聯合會ノ組織ハ保證責任トス

産業組合聯合會ノ所屬組合及所屬聯合會ノ保證責任ハ其ノ出資總額
 ノ範圍内ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第七十八條 産業組合又ハ産業組合聯合會カ産業組合聯合會ニ加入シ
 又ハ脱退セムトスルトキハ總會ノ決議ニ依ルヘシ

第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス
 第七十九條 産業組合聯合會ノ區域ハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外

道府縣ノ區域内ニ於テ之ヲ定ムヘシ
 主タル事務所所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ異ニスル二箇以上ノ産業
 組合聯合會カ合併セムトスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第八十條 産業組合聯合會ノ理事及監事ハ總會ニ於テ所屬組合又ハ所

屬聯合會ノ理事及監事ノ中ヨリ之ヲ選任ス但シ特別ノ事由アルトキハ理事又ハ監事ニ非サル者ヨリ選任スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ選任ニ付地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第八十條ノ二 産業組合聯合會ノ理事及監事ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムヘシ
資口數ハ百口ヲ超ユルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ五百口迄之ヲ増加スルコトヲ得

第八十一條 産業組合聯合會ニハ本章ニ規定アルモノ及第十條ノ五乃至第十條ノ八ノ規定ヲ除クノ外産業組合ニ關スル規定ヲ準用ス但第七條中七人以上トアルハ之ヲ二人以上トシ第六十二條第一項第四號中七人未滿トアルハ之ヲ二人未滿トス

第八十二條 産業組合中央會ハ産業組合及産業組合聯合會ノ普及、發達及聯絡ヲ圖ル目的ヲ以テ設立スルコトヲ得
産業組合中央會ハ社團法人トス

産業組合中央會ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ産業組合ノ事業ノ一部ヲ行フコトヲ得

第八十三條 産業組合中央會ノ名稱中ニハ産業組合中央會ナル文字ヲ用フヘシ

産業組合中央會ニ非スシテ其ノ名稱中ニ産業組合中央會タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用フルコトヲ得ス

第八十四條 産業組合中央會ハ全國ヲ通シテ一箇トシ其ノ設立ハ主務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

産業組合中央會ノ設立ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十五條 産業組合及産業組合聯合會ハ産業組合中央會ノ會員ト爲ルコトヲ得

前項以外ノ者ト雖定款ノ定ムル所ニ依リ産業組合中央會ノ會員ト爲ルコトヲ得

第八十六條 産業組合中央會ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一名 稱

二 事務所

三 會員ノ加入及脱退ニ關スル規定

四 會員ノ權利義務ニ關スル規定

五 資産ニ關スル規定

六 役員ニ關スル規定

七 會議ニ關スル規定

八 事業ノ執行ニ關スル規定

九 定款ノ變更ニ關スル規定

十 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由ニ定款ノ變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第八十七條 産業組合中央會設立ノ許可アリタルトキハ主タル事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スヘシ
登記スヘキ事項左ノ如シ

一 目的及第八十二條第三項ノ規定ニ依ル事業ノ種類

二 第八十六條第一項第一號、第二號及第十號ニ掲ケタル事項

三 資産ノ總額

四 設立許可ノ年月日

五 理事及監事ノ氏名、住所

前項ニ掲ケタル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ登記ヲ爲スヘシ

登記前ニ在リテハ其ノ變更ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第十六條ノ三ノ規定ハ第一項及前項ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ同條中

地方長官トアルハ主務大臣トス

第八十八條 産業組合中央會ニハ理事及監事ヲ置クヘシ

第八十九條 産業組合中央會ノ理事及監事ハ會員タル産業組合又ハ産業組合聯合會ノ理事、監事及第八十五條第二項ノ會員ノ中ヨリ之ヲ

選任スヘシ

第九十條 産業組合中央會ノ總會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ會員ノ中ヨ

リ選出シタル代表者ヲ以テ組織ス但シ第九十二條ニ於テ準用シタル第六十二條第一項第二號ノ總會ハ會員ヲ以テ組織ス

第九十一條 産業組合中央會ハ主務大臣之ヲ監督ス

第九十二條 第三條、第五條乃至第六條ノ二、第七條、第十條、第十五條、第十六條、第二十六條、第二十七條、第二十九條、第三十條乃至第三十五條、第三十九條第一項、第四十七條、第六十條、第六十一條、第六十二條第一項第一號第二號第四號第五號、第六十三條、第六十五條、第六十九條乃至第七十五條、第八十條第二項、第九十三條ノ二及第九十四條並民法第六十二條及第六十四條ノ規定ハ産業組合中央會ニ之ヲ準用ス但シ第六十五條、第七十三條ノ二及第七十三條ノ三中並第六十三條、第七十四條及第七十四條ノ二ニ於テ準用シタル第十六條ノ三中地方長官トアルハ主務大臣トス

第十章 罰則

第九十三條 組合ノ理事又ハ監事何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス組合

ノ事業ノ範圍外ニ於テ貸付若ハ手形ノ割引ヲ爲シ又ハ投機取引ノ爲ニ組合財産ヲ處分シタルトキハ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ規定ハ刑法ニ正條アル場合ニハ之ヲ適用セス

第九十三條ノ二 組合ノ理事、監事又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テハ五圓以上三百圓以下ノ過料ニ處セラレ

- 一 本法ニ定メタル届出若ハ組合原簿ノ提出ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ届出ヲ爲シ若ハ組合原簿ニ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ
- 二 官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

三 第二十九條第一項及第三十條第一項ノ規定ニ違背シ又ハ第二十九條第一項及第三十條第一項ニ掲ケタル書類ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ若ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ閱覽ヲ拒ミタルトキ

- 四 第一條第五項、第四十三條、第四十五條乃至第四十六條ノ二、
 第四十八條又ハ第七十二條ノ規定ニ違背シタルトキ
 五 第六十條ノ報告ヲ爲サス又ハ検査ヲ拒ミ其ノ他監督官廳ノ命令
 又ハ處分ニ從ハサルトキ
 六 民法第七十九條ノ期間内ニ債權者ニ辨償ヲ爲シタルトキ
 七 民法第七十九條又ハ第八十一條ニ定メタル公告ヲ爲スコトヲ怠
 リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ
 八 民法第七十條又ハ第八十一條ノ規定ニ違背シタルトキ
 九 組合ノ目的タル事業ニ非サル營利事業ヲ營ミタルトキ
 十 第四十條又ハ第四十一條ノ規定ニ違背シテ出資一口ノ金額若ハ
 組合員ノ保證金額ヲ減少シ、第五十八條ノ規定ニ依ル責任期間ノ
 短縮ヲ爲シ又ハ組合ノ合併若ハ組織變更ヲ爲シタルトキ
 十一 法令又ハ定款ニ違背シテ剩餘金ヲ處分シタルトキ
 民法第七十條ハ第六十九條 民法第七十九條及同第八十一條ハ第七十五條ノ參照ニ出ツ

第九十三條ノ三、第四條第二項又ハ第八十三條第二項ノ規定ニ違背シ
 タル者ハ十圓以上百圓以下ノ過料ニ處セラル

第九十四條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前二
 條ノ過料ニ之ヲ準用ス

非訟事件手續法第二百六條 民法第八十四條、第九百七條及ヒ民法施行法第二十二條及ヒ
 商法第十八條第二項、第二百六十二條、第二百六十二條ノ二、第五百三十六條及ヒ商法
 施行法第十一條第二項、第二十七條、第三十九條第二項、第五十四條、第六十條第二項
 第六十九條、第七十五條第三項、第八十七條ニ定メタル事件ハ過料ニ處セラルヘキ者ノ
 住所地ノ地方裁判所ノ管轄トス

同第二百七條 過料ノ裁判ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スヘシ
 裁判所ハ裁判ヲ爲ス前當事者ノ陳述ヲ聽キ檢事ノ意見ヲ求ムヘシ
 當事者及ヒ檢事ハ過料ノ裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ效力ヲ
 有ス

手續ノ費用ハ過料ニ處スル言渡アリタル場合ニ於テハ其言渡ヲ受ケタル者ノ負擔トシ其
 他ノ場合ニ於テハ國庫ノ負擔トス

抗告裁判所カ當事者ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタルトキハ抗告手續ノ費用及ヒ前審ニ於テ當事者ノ負擔ニ歸シタル費用ハ國庫ノ負擔トス

同第二百八條 過料ノ裁判ハ檢事ノ命令ヲ以テ之ヲ執行ス此命令ハ執行力ヲ有スル債務名義ト同一ノ效力ヲ有ス

過料ノ裁判ノ執行ハ民事訴訟法第六篇ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲ス但執行ヲ爲ス前裁判ノ送達ヲ爲スコトヲ要セス

附 則

第九十五條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第九十六條 産業組合ノ登記ニ付テハ其ノ事務所所在地ノ區裁判所又ハ其ノ出張所、産業組合聯合會及産業組合中央會ノ登記ニ付テハ其ノ事務所所在地ノ區裁判所ヲ以テ管轄登記所トス

第九十七條 各登記所ニ産業組合登記簿、産業組合聯合會登記簿及産業組合中央會登記簿ヲ備フ

第九十八條 登記ノ囑託ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

囑託書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 産業組合、産業組合聯合會又ハ産業組合中央會ノ名稱及事務所
- 二 登記ノ目的及事由
- 三 年月日
- 四 登記所ノ表示

第九十九條 設立登記ノ囑託書ニハ定款及届書ヲ添附シ其ノ他ノ登記ノ囑託書ニハ届出ニ因ル場合ニ於テハ届書ヲ添附スヘシ

第一百條 削 除

第一百一條 削 除

第一百二條 削 除

第一百三條 削 除

第一百四條 本法ノ規定ニ依リ登記シタル事項ハ裁判所遲滯ナク之ヲ公告スヘシ但シ組合原簿ニ記載シタル事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第一百五條 非訟事件手續法第三百三十八條、第三百三十八條ノ二、第四百

十一條乃至第四百四十六條、第四百四十八條、第四百四十八條ノ二、第百

五十一條乃至第五百五十一條ノ六、第五百五十四條乃至第五百五十八條、
第六百六十五條及第七百七十五條ノ規定ハ産業組合、産業組合聯合會及
産業組合中央會ニ之ヲ準用ス

非訟事件手續法第三百二十八條 左ニ掲ケタル者ハ清算人トシテ之ヲ選任スルコトヲ得ス

- 一 未成年者
- 二 禁治産者及ヒ準禁治産者
- 三 剝奪公權者及停止公權者
- 四 裁判所ニ於テ解任セラレタル清算人
- 五 破産者

同第三百二十八條ノ三 第二百二十九條ノ三及ヒ第二百二十九條ノ四ノ規定ハ裁判所カ清算人

又ハ前條ノ規定ニ依リ検査ヲ爲スヘキ者ヲ選任シタル場合ニ之ヲ準用ス(本條ハ昭和
二年三月法律第三十三號ヲ以テ改正セラレ非訟事件手續法第三百二十八條ノ三トナル)

同第二百二十九條ノ三 商法第二百二十四條又ハ第九十八條ノ規定ニ依リ裁判所カ檢
査役ヲ選任シタル場合ニ於テハ會社ヲシテ之ニ報酬ヲ與ヘシムルコトヲ得其額ハ
取締役及ヒ監査役ノ陳述ヲ聽キ裁判所之ヲ定ム

同第二百二十九條ノ四 前條ノ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

同第四百十一條 各登記所ニ各商業登記簿ノ見出帳ヲ備フ

同第四百十二條 登記所ハ何人ニモ登記簿ノ閲覧ヲ許シ又ハ手数料ヲ納付スルトキハ之
ニ其謄本若クハ抄本ヲ交付スヘシ

登記所ハ登記上利害ノ關係ヲ疎明シテ申請ヲ爲シタル者ニハ其關係アル部分ニ限り登
記簿ノ附屬書類ノ閲覧ヲ許スヘシ

郵送料ヲ納付シテ登記簿ノ謄本又ハ抄本ヲ請フトキハ登記所ハ之ヲ送付スヘシ
同第四百十三條 登記所ハ申請ニ因リ登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコ
トノ證明ヲ爲スヘシ

同第四百十四條 登記シタル事項ノ公告ハ官報及ヒ新聞紙上ニ少クモ一回之ヲ爲スコト
ヲ要ス

公告ハ之ヲ掲載シタル最終ノ官報及ヒ新聞紙發行ノ日ノ翌日之ヲ爲シタルモノト看做
ス

同第四百十五條 區裁判所ハ毎年十二月ニ翌年登記事項ノ公告ヲ掲載セシムヘキ新聞紙
ヲ選定シ官報及ヒ新聞紙ヲ以テ之ヲ公告スヘシ

公告ヲ掲載セシムヘキ新聞紙カ休刊又ハ廢刊ヲ爲ストキハ更ニ他ノ新聞紙ヲ選定シ前
項ト同一ノ方法ヲ以テ之ヲ公告スヘシ

同第四百十六條 區裁判所ハ其管轄内ニ公告ヲ爲サシムルニ適當ナル新聞紙ナシト認め
産業組合法

ルトキハ新聞紙上ノ公告ニ代ヘ登記所及ヒ其管轄内ノ市町村役場ノ揭示場ニ公告ヲ爲スコトヲ得

同第四百十八條 當事者ハ登記ヲ受ケタル後其登記ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ管轄登記所ニ其更正ヲ申請スルコトヲ得

同第四百十八條ノ二 當事者ハ登記ヲ受ケタル後其登記カ商法又ハ本法ノ規定ニ依リテ許スヘカラサルモノナルコトヲ發見シタルトキハ管轄登記所ニ其抹消ヲ申請スルコトヲ得

同第五百十一條 登記所ハ登記ノ申請カ商法又ハ本章ノ規定ニ適セサルトキハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ却下スヘシ此決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

同第五百十一條ノ二 登記所ハ登記ヲ爲シタル後其登記カ商法又ハ本法ノ規定ニ依リテ許スヘカラサルモノナルコトヲ發見シタルトキハ登記ヲ爲シタル者ニ對シ一ヶ月ヲ超エサル期間ヲ定メ其期間内ニ異議ノ申立ナキトキハ登記ヲ抹消スヘキ旨ヲ通知スヘシ

登記ヲ爲シタル者ノ住所又ハ居所カ知レサルトキハ前項ノ通知ニ代ヘ登記事項ノ公告ト同一ノ方法ヲ以テ公告スヘシ

登記所ハ右ノ外相當ト認ムル新聞紙ニ同一ノ公告ヲ掲載セシムルコトヲ得

裁判ヲ爲スヘシ

前項ノ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

同第五百十一條ノ四 異議ノ申立ナキトキ又ハ異議ヲ却下スル裁判カ確定シタルトキハ登記所ハ職權ヲ以テ登記ヲ抹消スヘシ

同第五百十一條ノ五 前三條ノ規定ハ本店及支店ノ所在地ニ於テ登記スヘキ事項ノ登記ニ付テハ本店ノ所在地ニ於テ爲シタル登記ニノミ之ヲ適用ス

前項ノ場合ニ於テ本店所在地ノ登記所カ登記ヲ抹消シタルトキハ遲滞ナク其旨ヲ支店所在地ノ登記所ニ通知スヘシ

支店所在地ノ登記所カ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク登記ヲ抹消スヘシ

同第五百十一條ノ六 登記所ハ登記ヲ爲シタル後其登記ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ遲滞ナク登記ヲ爲シタル者ニ其旨ヲ通知スヘシ但其錯誤又ハ遺漏カ登記所ノ過誤ニ出テタルトキハ此限ニ在ラス

前項但書ノ場合ニ於テハ登記所ハ遲滞ナク地方裁判所長ノ許可ヲ得テ登記ノ更正ヲ爲スヘシ

同第五百十四條 商業登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタル場合ニ於テハ司法大臣ハ一定ノ期間ヲ定メテ登記ノ回復ニ必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得

同第五百十五條 司法大臣ハ數個ノ登記所ノ管轄ニ屬スヘキ商業登記ノ事務ヲ其一登記

産業組合法

所ニ委任スルコトヲ得

同第五十六條 登記簿ノ調製其他登記ニ關スル施行細則ハ司法大臣之ヲ定ム

同第五十七條 不動産登記法第十條、第十三條、第十八條、第二十條、第二十二條、第二十四條及ヒ第五十九條ノ規定ハ商業登記ニ之ヲ準用ス

不動産登記法第十條 登記所ニ於テ其事務ヲ停止セサルコトヲ得サル事故ノ生シタルトキハ司法大臣ハ期間ヲ定メテ其停止ヲ命スルコトヲ得

同第十三條 登記官吏カ其職務ノ執行ニ付キ申請人其他ノ者ニ損害ヲ加ヘタルトキハ其損害カ登記官吏ノ故意又ハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル場合ニ限り之ヲ賠償スル責ニ任ス

同第十八條 登記簿ニハ地方裁判所長其枚數ヲ表紙ノ裏面ニ記載シ職氏名ヲ署シ職印ヲ捺捺シ且毎葉ノ綴目ニ職印ヲ以テ契印ヲ爲スコトヲ要ス

同第二十條 登記簿、見出帳、共同人名簿及ヒ圖面ハ永久ニ之ヲ保存スルコトヲ要ス申請書其他ノ附屬書類ハ申請書受附ノ日ヨリ十年間之ヲ保存スルコトヲ要ス

同第二十二條 登記簿及ヒ其附屬書類ハ事變ヲ避クル爲メニスル場合ヲ除ク外登記所外ニ持出スコトヲ得ス但第二十條第二項ニ掲ケタル書類ニ付テハ裁判所又ハ豫審判事ノ命令又ハ囑託アリタルトキハ此限ニ在ラス

同第二十四條 登記簿及其ノ附屬書類ノ滅失スル虞アルトキハ司法大臣ハ必要ナル

處分ヲ命スルコトヲ得

同第五十八條 商號ノ登記ハ同市町村内ニ於テハ同一ノ營業ノ爲メ他人カ登記シタルモノト判然區別シ得ルトキニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

同第六十五條 登記所カ第五十一條ノ六第二項ノ規定ニ依リ商號ニ關スル登記ノ更正ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク登記ヲ爲シタル者ニ其旨ヲ通知スヘシ

同第七十五條 清算人ニ關スル登記ハ清算ヲ爲スヘキ會社ノ登記所ノ管轄トス前項ノ登記ハ會社ノ登記ニ記載シテ之ヲ爲ス

附 則 (明治四十二年法律第二十七號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (明治四十二年勅令第二百一十一號)

本法施行前產業組合カ裁判所ニ差出シタル組合員名簿ハ組合原簿ト看做ス

附 則 (大正六年法律第二十二號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (大正六年十月二十六日勅令第九十九號)

本法施行前ニ登記シタル產業組合及產業組合聯合會ニシテ定款ニ區域ノ定アルモノニ付テハ地方長官ハ本法施行ノ日ヨリ三月内ニ區域ノ登

記ヲ各事務所所在地ノ登記所ニ囑託スヘシ

附 則 (大正十年法律第七十三號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(大正十年八月三日勅令第三百七十
一號ヲ以テ同年八月十日ヨリ施行)

本法施行前ニ設立シタル生産組合又ハ生産組合聯合會ハ之ヲ本法ニ依
リ設立シタル利用組合又ハ利用組合聯合會ト看做ス

附 則 (大正十五年法律第五十四號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム但シ第五十九條及第六百六條ニ關
スル規定ハ郡長及島司廢止ノ日ヨリ之ヲ施行ス(大正十五年五月廿五日勅令第
百卅號ヲ以テ同日ヨリ施行)

附 則 (昭和七年九月六日法律第三十號)

第一條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和七年九月三十日勅令第
二百七十五號ヲ以テ同年十

月一日ヨ
リ施行)

第二條 本法施行前ニ設立シタル有限責任ノ組合(第二條第一項但書
ノ改正規定ニ掲クル組合ヲ除ク)又ハ聯合會ニ付テハ本法施行ノ日
ヨリ五箇年ヲ限リ第二條第一項但書及第七十七條ノ改正規定ニ依ラ

ス仍從前ノ規定ニ依ル

第三條 前條ノ組合ハ同條ノ期間内ニ總會ニ於テ總組合員ノ半數以上
出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テスル決議ニ依リ其ノ組織ヲ
變更シ保證責任ノ組合ト爲スコトヲ得

前項ノ組織變更ニ同意セサル組合員ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ組織變
更ノ時ニ於テ脱退シタルモノト看做ス

前二項ノ規定ハ前條ノ聯合會ニ之ヲ準用ス

第四條 附則第二條ノ組合又ハ聯合會ニシテ同條ノ期間内ニ其ノ組織
ヲ變更シテ左ニ掲クル組織ト爲ササルモノハ其ノ期間滿了ノ日ニ於
テ解散ス

一 組合ニ在リテハ保證責任又ハ無限責任
二 聯合會ニ在リテハ保證責任

第五條 第十條ノ二第一項ノ改正規定ニ依リ産業組合ノ組合員タルコ
トヲ得サル法人ニシテ本法施行ノ際現ニ産業組合ノ組合員タルモノ

ヲ得サル者ヲシテ産業組合法第一條第八項ノ規定ニ依リ指定シタル設備ヲ利用セシムルコトヲ得ス

第一條ノ三 産業組合法第一條第七項ニ組合員タルコトヲ得サル者ト稱スルハ法令若ハ定款ノ規定ニ依リ又ハ出資ノ能力ナキ爲組合ニ加入スルコトヲ得サル者ヲ謂フ

第一條ノ四 産業組合法第一條第七項ノ事業ヲ行フ利用組合ノ設立ノ許可ヲ申請スル者ハ定款ノ外左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ提出スヘシ

- 一 申請ノ理由
- 二 設備ノ規模及其ノ能力
- 三 組合員ノ設備利用ノ程度
- 四 設備ニ關スル事業施行ノ方法
- 五 設備費
- 六 一事業年度ノ收支概算

七 組合員數、組合員戶數、區域内戶數及組合員タルコトヲ得サル

者ニシテ設備ヲ利用シ得ルモノノ種類別數

組合員タルコトヲ得サル者ヲシテ産業組合法第一條第八項ノ規定ニ依リ指定シタル設備ヲ利用セシムル爲定款ヲ變更セムトスル場合ニ於テハ認可申請書ニ前項第二號乃至第七號ニ掲クル事項ヲ記載シタル書類、財産目錄及貸借對照表ヲ添附スヘシ

組合合併ノ際定款ヲ以テ前項ノ事業ヲ行フ旨ヲ定メトスル場合ニ於テハ其ノ認可申請書ニ第一項各號ニ掲クル事項ヲ記載シタル書類ヲ添附スヘシ

第一條ノ五 産業組合法第二條第七項ノ事業ヲ行フ利用組合ハ其ノ區域内ニ於ケル組合員タルコトヲ得ル者ノ三分ノ二以上ヲ組合員トスルモノニ限ル

第一條ノ六 組合員タルコトヲ得サル者ニシテ産業組合法第一條第八項ノ規定ニ依リ指定シタル設備ヲ利用シ得ルモノハ組合ノ區域内ニ

居住スル者ニ限ル但シ左ノ各號ニ掲クル者ハ此ノ限ニ在ラス

一 電氣設備ニ在リテハ組合ノ區域内ニ於テ家屋物件ヲ所有シ使用シ又ハ占有シ之カ爲其ノ設備ヲ利用スル必要アル者

二 其ノ他ノ設備ニ在リテハ前號ニ掲クル者及定款ヲ以テ規定シタル者

第一條ノ七 組合員タルコトヲ得サル者ヲシテ設備ヲ利用セシムル場合ニ於ケル利用料ハ實費ヲ超ユルコトヲ得ス

第一條ノ八 産業組合法第六條ノ二ニ住宅ト稱スルハ主トシテ住居ノ用ニ供スル家屋及之ニ相應スル門、牆塀、物置、井戸其ノ他居住ノ爲必要ナル附屬設備ヲ謂フ

第一條ノ九 産業組合法第六條ノ二ノ規定ニ依リ地方税ノ免除ヲ受クヘキ住宅又ハ住宅用地ハ左ノ制限ニ從フコトヲ要ス但シ産業組合ノ住宅ノ建設若ハ購入又ハ住宅用地ノ取得ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

一 住宅ハ一組合員ニ付一戸ニ限ル

二 前號ノ住宅ハ一戸ニ付家屋各階ノ床面積合計五十坪ヲ超ユルコトヲ得ス但シ地方長官ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

三 住宅用地ハ住宅ニ相應スルモノナルコトヲ要ス

第一條ノ十 産業組合ノ組合員タルコトヲ得ル養蠶實行組合ハ部落其ノ他之ニ準スル區域ヲ其ノ地區トスルモノニ限ル

第一條ノ十一 部落其ノ他之ニ準スル區域ヲ其ノ區域トスル産業組合ハ地方長官ノ認可ヲ受ケテ他ノ産業組合ノ組合員ト爲ルコトヲ得

部落其ノ他之ニ準スル區域ヲ其ノ地區トスル漁業組合ハ産業組合ノ組合員トナルコトヲ得

第一條ノ十二 農事實行組合、養蠶實行組合、漁業組合又ハ産業組合カ産業組合ノ組合員ト爲リタルトキハ其ノ組合員名簿ヲ産業組合ニ提出スヘシ

前項ノ組合員名簿ニ變更アリタルトキハ遲滞ナク産業組合ニ之ヲ通知スヘシ

第一條ノ十三 産業組合法第十條ノ四ノ規定ニ依リ準用セラルル蠶絲業組合法第二十二條第一項ニ於テ行政官廳ト稱スルハ之ヲ地方長官トス

第一條ノ十四 産業組合法第十條ノ四ノ規定ニ依リ準用セラルル蠶絲業組合法第二十二條第一項ノ規定ニ依ル農事實行組合ノ届出アリタルトキハ地方長官ハ農事實行組合ノ名稱、事務所ノ所在地及設立ノ年月日ヲ告示スヘシ其ノ告示シタル事項ニ付變更ノ届出アリタルトキ亦同シ

第二條 出資一口ノ金額ハ組合ニ在リテハ五十圓、聯合會ニ在リテハ五百圓ヲ超ユルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二條ノ二 保證責任ノ組合又ハ聯合會ノ組合員又ハ所屬組合若ハ所屬聯合會ノ保證金額ハ其ノ出資額ヲ下ルコトヲ得ス

第三條 第一回拂込ノ金額ハ出資一口ノ金額ノ十分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第四條 準備金ノ額ハ出資總額ヲ下ルコトヲ得ス

第五條 組合若ハ聯合會カ新ニ加入スル者ヨリ加入金ヲ徵收シ又ハ新

ニ出資口數ヲ増加スル者ヨリ増口金ヲ徵收スルトキハ其ノ金額ハ之ヲ準備金ニ組入ルヘシ脱退シタル組合員又ハ組合若ハ聯合會ニ對シ其ノ持分ノ一部ヲ拂戻スヘキコトヲ定メタルトキハ其ノ殘額ニ付亦同シ

第六條 總代會ハ組合ニ在リテハ五百人以上ノ組合員、聯合會ニ在リテハ百人以上ノ所屬組合及所屬聯合會ヲ有スルニ非サレハ之ヲ設クルコトヲ得ス

總代會ヲ設ケムトスルトキハ定款ニ總代ノ員數、任期及選舉ニ關スル規定ヲ設クヘシ

第七條 産業組合法第九十條ノ代表者ハ道府縣毎ニ會員之ヲ選舉スヘシ

前條第二項ノ規定ハ前項ノ代表者ニ之ヲ準用ス

第八條 理事及監事ハ定款ノ規定又ハ總會若ハ總代會ノ決議ニ依ルニ非サレハ給料、報酬又ハ賞與ヲ受クルコトヲ得ス

第九條 削除

第九條ノ二 産業組合法第一條第三項又ハ第四項ノ規定ニ依ル貯金ノ受入及拂戻ニ付テハ組合員ノ貯金ト區別シテ整理シタル帳簿ヲ備付クヘシ

第九條ノ三 産業組合法第一條第七項ノ規定ニ依ル利用ニ付テハ組合員ノ利用ト區別シテ整理シタル帳簿ヲ備付クヘシ

第九條ノ四 登記又ハ組合原簿若ハ聯合會原簿ノ記載ニ關スル届書ニハ理事又ハ清算人署名捺印スヘシ

前項ノ届書ニハ受附ノ年月日ヲ記載スヘシ地方長官ニ於テ受理シタル組合原簿及聯合會原簿ニ付亦同シ

第九條ノ五 地方長官ニ提出スル組合原簿、聯合會原簿又ハ其ノ記載事項ノ變更ノ届書ニハ記載事項又ハ其ノ變更ニ付キ監事ノ證明書ヲ添附スヘシ但シ組合員ノ氏名又ハ住所ノ變更ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ハ産業組合法第八十七條第二項第三號ノ事項ノ變更ノ届書ニ之ヲ準用ス

第九條ノ六 登記又ハ組合原簿若ハ聯合會原簿ノ記載ニ關スル届書ニハ産業組合法第四十條第二項及第四十一條第二項ノ手續ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ手續ヲ踐ミタルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第十條 理事ハ總會又ハ總代會ノ承認ヲ經タル後遲滞ナク産業組合法第三十條第一項ニ掲ケタル書類ヲ組合又ハ聯合會ニ在リテハ地方長官ニ、中央會ニ在リテハ農林大臣ニ差出スヘシ

第十一條 組合又ハ聯合會ノ事業報告書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 組合ニ在リテハ組合員ノ職業別ノ數並出資口數ノ異動、聯合會ニ在リテハ所屬組合及所屬聯合會ノ種類別ノ數並出資口數ノ異動
- 二 出資拂込ノ總額及剩餘金ヲ以テ出資ノ拂込ニ充テタルトキハ其ノ總額
- 三 損益ノ計算並借入又ハ償還シタル金額及借入金ノ利率

- 三ノ二 準備金及各種ノ積立金
- 四 總會又ハ總代會ノ決議
- 五 事業ノ狀況
- 六 信用組合又ハ信用組合聯合會ニ在リテハ貸付シ又ハ償還ヲ受ケタル金額及件數、受入又ハ拂戻シタル貯金額及貯金ヲ爲シタル組合又ハ所屬組合及所屬聯合會ノ數並貯金及貸付金ノ利率、産業組合法第一條第二項ノ豫約ヲ爲シタル信用組合ニ在リテハ豫約者ノ數及其ノ貯金額、販賣組合又ハ販賣組合聯合會ニ在リテハ受入又ハ販賣シタル物ノ種目別ノ數量及價額、購買組合又ハ購買組合聯合會ニ在リテハ買入若ハ生産又ハ賣却シタル物ノ種目別ノ數量及價額、利用組合又ハ利用組合聯合會ニ在リテハ利用ノ程度ヲ表示スヘキ事項
- 六ノ二 産業組合法第一條第三項ノ規定ニ依ル貯金ヲ取扱フ信用組合ニ在リテハ其ノ貯金者ノ種類別數、受入又ハ拂戻シタル貯金額

- 及貯金ノ利率
 - 六ノ三 産業組合法第一條第四項ノ信用組合ニ在リテハ手形ノ種類別割引枚數、金額及割引ノ歩合、組合員及組合員外ノ職業別及金額別ノ貯金者數及貯金額、受入又ハ拂戻シタル組合員外ノ貯金額及貯金ノ利率、預入先別預入又ハ引出シタル金額及預入金ノ利率並拂戻準備金ノ管理方法別ノ金額
 - 六ノ四 信用組合聯合會ニ在リテハ産業組合法第七十六條ノ二第一項ノ規定ニ依リ爲シタル保證ノ金額
 - 六ノ五 産業組合法第七十六條ノ三ノ信用組合聯合會ニ在リテハ手形ノ種類別割引枚數、金額及割引ノ歩合
 - 七 産業組合法第一條第七項ノ事業ヲ行フ利用組合ニ在リテハ組合員タルコトヲ得サル者ノ利用ノ程度ヲ表示スヘキ事項
 - 八 處務ノ要件
- 前項ノ規定ハ中央會ノ事業報告書ニ之ヲ準用ス

第十二條 組合、聯合會又ハ中央會カ借入金ヲ爲サムトスルトキハ每事業年度總會又ハ總代會ニ於テ一事業年度ニ於ケル借入額ノ最高限度ヲ議決スヘシ

前項ノ規定ハ信用組合又ハ信用組合聯合會カ一事業年度ニ於ケル一組合員又ハ一所屬組合若ハ一所屬聯合會ニ對シテ爲ス貸付額又ハ手形ノ割引金額ノ最高限度ニ付之ヲ準用ス

理事ハ前二項ノ規定ニ依リ議決シタル事項ヲ組合又ハ聯合會ニ在リテハ地方長官ニ中央會ニ在リテハ農林大臣ニ遲滯ナク報告スヘシ

第十二條ノ二 定款變更ノ認可申請書ニハ理由書及總會又ハ總代會ノ決議録ヲ添附スヘシ

第十二條ノ三 理事又ハ監事ノ變更ノ届書ニハ其ノ變更カ總會又ハ總代會ノ決議ニ依ル場合ニ在リテハ其ノ決議録、其ノ他ノ場合ニ在リテハ監事ノ證明書ヲ添附スヘシ

第十二條ノ四 産業組合法第十六條ノ六第二項及第三項ノ規定ニ依リ

無限責任組合ノ提出スル組合原簿ニハ總組合員ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第十三條 出資一口ノ金額又ハ保證金額ノ減少ノ認可申請書ニハ第十二條ノ二ニ掲ケタル書類ノ外財産目錄及貸借對照表ヲ添附スヘシ

第十四條 剩餘金ノ配當ハ取扱ヒタル物ノ數量、價額其ノ他事業ノ分量又ハ拂込ミタル出資額ニ對スルノ外之ヲ爲スコトヲ得ス

取扱ヒタル物ノ數量、價額其ノ他事業ノ分量ニ對シ配當スヘキ剩餘金ニシテ出資ノ拂込ニ充テサルモラハ拂込ミタル出資額カ出資總額ノ二分ノ一ニ滿タサル場合ニ限り配當スヘキ剩餘金ノ二分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

拂込ミタル出資額ニ對スル剩餘金配當ノ率ハ年六分ヲ超ユルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ年一割迄之ヲ増加スルコトヲ得

第十四條ノ二 産業組合法第十六條ノ六第三項又ハ第五十八條第二項

ノ場合ニ於ケル定款變更ノ認可申請書ニハ總組合員ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

産業組合法第五十八條第三項ノ場合ニ於ケル定款變更ノ認可申請書ニハ第十三條ニ掲ケタル書類ヲ添附スヘシ

第十四條ノ三 産業組合法第六十二條第一項第一號又ハ第四號ノ事由ニ因ル解散ノ届書ニハ其ノ事由ヲ記載シ解散ノ當時ニ於ケル監事ノ證明書ヲ添附スヘシ

第十四條ノ四 總會ノ決議ニ因ル解散ノ認可申請書ニハ理由書、總會ノ決議録、財産目錄及貸借對照表ヲ添附スヘシ

第十五條 合併ノ認可申請書ニハ第十三條ニ掲ケタル書類ノ外合併契約書及合併後存続スル組合若ハ聯合會又ハ合併ニ因リテ設立スル組合若ハ聯合會ノ定款並産業組合法第六十三條ノ二ノ場合ニ於テハ申請者カ同條ノ規定ニ依リ選任セラレタル者ナルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

産業組合法第六十二條第二項但書ノ規定ニ依ル合併ニ付テハ前項ニ掲ケタル書類ノ外組合ニ在リテハ總組合員、聯合會ニ在リテハ總所屬組合及總所屬聯合會ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第十五條ノ二 組合又ハ聯合會ノ繼續ノ認可申請書ニハ組合ニ在リテハ組合員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ證スル書面ヲ、聯合會ニ在リテハ所屬組合及所屬聯合會ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第十六條 組織變更ノ認可申請書ニハ組合ニ在リテハ總組合員、聯合會ニ在リテハ總所屬組合及總所屬聯合會ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附シ組合員又ハ所屬組合及所屬聯合會ノ責任ヲ減少スルトキハ尙ホ第十三條ニ掲ケタル書類ヲ添附スヘシ

第十六條ノ二 産業組合法第五十八條第三項ノ規定ニ依ル定款變更ノ場合ニ於テ組合又ハ聯合會カ産業組合法第四十條第二項及第四十一條第二項ノ手續ヲ踐ミタルトキハ之ヲ證スル書面ヲ添附シ遲滯ナク

其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第十七條 組合又ハ聯合會カ中央會ニ加入シ又ハ脱退シタルトキハ其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第十七條ノ二 第十二條ノ三ノ規定ハ清算人ノ選任及其ノ變更ノ届書ニ之ヲ準用ス

第十七條ノ三 第十條ノ規定ハ清算人カ産業組合法第七十一條ノ規定ニ依ル承認ヲ經タル場合ニ之ヲ準用ス

第十七條ノ四 清算終了ノ届書ニハ總會又ハ總代會ノ承認ヲ經タル決算報告書ヲ添附スヘシ

第十八條 北海道支廳長カ産業組合法第六十條ノ規定ニ依リ命令ヲ發シ又ハ處分ヲ行ハムトスルトキハ地方長官ノ指揮ヲ請フヘシ

第十九條 地方長官カ産業組合法第六十條又ハ第六十一條ノ規定ニ依リ命令ヲ發シ又ハ處分ヲ行ヒタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ農林大臣ニ報告スヘシ

第十九條ノ二 左ノ各號ノ一ニ該當スル組合又ハ聯合會設立許可ノ申請アリタルトキハ地方長官ハ其ノ處分ニ付豫メ農林大臣ノ指揮ヲ請フヘシ

一 製絲ヲ爲シ又ハ製絲工場ヲ有スル組合又ハ聯合會

二 醫療設備ヲ有スル組合又ハ聯合會

三 區域カ郡、市又ハ市制第六條ノ市ノ區ノ區域ヲ超ユル組合

前項ノ規定ハ組合又ハ聯合會カ其ノ定款ヲ變更シテ同項各號ノ一ニ該當スル組合又ハ聯合會ト爲ル場合ニ於ケル定款變更ノ認可申請ニ付之ヲ準用ス前項第三號ニ該當スル組合カ其ノ區域ヲ變更スル場合ニ於ケル定款變更ノ認可申請ニ付亦同シ

第一項ノ規定ハ組合又ハ聯合會カ合併ニ因リ同項各號ノ一ニ該當スル組合又ハ聯合會ト爲ル場合ニ於ケル合併ノ認可申請ニ付之ヲ準用ス

第二十條 本則中農林大臣トアルハ大正六年勅令第二百號ニ依リ農林

大臣及大藏大臣ノ所管ニ係ルモノニ付テハ農林大臣及大藏大臣トス
本則中地方長官トアルハ區域カ道府縣ノ區域ヲ超ユル組合又ハ聯合
會ニ在リテハ農林大臣トス
前項ノ組合又ハ聯合會ヨリ農林大臣ニ提出スヘキ書類ハ主タル事務
所所在地ノ地方長官ヲ經由スヘシ

附則

本令ハ大正六年法律第二十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則

本令ハ大正十五年法律第五十四號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行ノ際現ニ拂込ミタル出資額以外ノ持分ニ對シ剩餘金ノ配當ヲ
行フ旨ヲ定款ヲ以テ定メタル組合又ハ聯合會ノ剩餘金ノ配當ニ付テハ
大正十五年十二月三十一日迄仍從前ノ例ニ依ル
前項ノ組合又ハ聯合會前項ノ期日迄ニ地方長官ノ許可ヲ受ケタルトキ
ハ剩餘金ノ配當ニ付昭和七年七月三十一日迄仍從前ノ例ニ依ルコトヲ

得

附則

本令ハ昭和七年法律第三十號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
昭和七年法律第三十號施行前ニ設立シタル養蠶實行組合ハ同法施行前
ニ加入シタル組合員ノ全員ノ同意アルニ非サレハ産業組合ノ組合員タ
ルコトヲ得ス
第二條ノ二ノ規定ハ當分ノ内本令施行ノ際現ニ存スル保證責任ノ組合
又ハ聯合會ニ付テハ之ヲ適用セス
第十六條ノ規定ハ昭和七年法律第三十號附則第三條ノ規定ニ依ル組合
又ハ聯合會ノ組織變更ノ認可申請書ニ付テハ之ヲ適用セス

三 産業組合法中主務大臣ノ行フ職務ニ

關スル件

大正六年十月廿六日勅令第 二 百 號
改正大正十年八月三日勅令第三百七十二號

産業組合法施行規則

産業組合法中主務大臣ノ行フ職務ニシテ左ノ各號ノ一ニ關スルモノハ
農商務大臣及大藏大臣協議シテ之ヲ行フ

一 産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依リ手形ノ割引又ハ貯金ノ取
扱ヲ爲ス信用組合

又二 信用組合聯合會及産業組合中央會ノ事業中前號ノ信用組合ニ關
スル事業

前項ノ規定ハ樺太ニ付テハ之ヲ適用セス
附 則

本令ハ大正六年法律第二十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
附 則 (大正十年勅令第三百七十二號)

本令ハ大正十年法律第七十三號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

四 産業組合法第四十六條ノ二ノ規定ニ

依ル拂戻準備金ノ管理ニ關スル件

大正六年十月二十六日勅令第二百一號
改正大正十年四月二十二日勅令第九十四號
改正昭和六年一月二十七日勅令第五號

第一條 産業組合法第四十六條ノ二ノ規定ニ依ル拂戻準備金ノ管理ハ

左ノ方法ニ依ルヘシ

一 金錢又ハ有價證券ノ供託

二 郵便貯金法ニ依ル貯金又ハ有價證券保管

三 産業組合中央金庫ヘノ貯金

四 信用組合聯合會ヘノ貯金

前項第四號ノ貯金ハ拂戻準備金總額ノ二分ノ一ヲ越ユルコトヲ得ス

第二條 前條ノ有價證券ノ種類ハ左ノ範圍ヲ超ユルコトヲ得ス

一 國債證券

産業組合ニ關スル勅令

二 地方債證券

三 産業債券

第三條 第一條ノ有價證券ノ見積價格ハ事業年度ニ從ヒ每六月末日ノ時價ヲ超ユルコトヲ得ス

第四條 産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ヲ取扱フ信用組合ハ事業年度ニ從ヒ六月毎ニ遲滯ナク第一條ノ規定ニ依ル管理ノ手續ヲ爲シ同法第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ノ額ヲ記載シタル書面及管理ノ事實ヲ證明スルニ足ルヘキ書面ヲ添ヘ其ノ旨地方長官ニ届出ツヘシ

第五條 拂戻準備金ハ地方長官ノ承認ヲ受クルニ非サレハ之ヲ引出スコトヲ得ス
前項ノ承認ノ申請ハ其ノ事由ヲ具シタル書面ニ産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ノ現在額並證券ヲ引出スモノニ在リテハ證券ノ種類、記號、番號、券面ノ金額及枚數ヲ記載シタル書面ヲ添附シ

テ之ヲ爲スヘシ

附 則

本令ハ大正六年法律第二十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 (大正十年勅令第九十四號)

本令ハ大正十年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ノ供託又ハ保管ニ係ル國債證券及地方債證券以外ノ有價證券ハ本令施行ノ日ヨリ五年ヲ限リ本令ノ規定ニ拘ラス仍其ノ效力ヲ有ス

附 則 (昭和六年勅令第五號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(昭和六年一月二十八日公布)

五 産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル市街地指定ノ件

産業組合ニ關スル勅令

大正六年十一月四日	農務省告示第三百四十六號
大正七年十二月九日	農務省告示第七九一號
大正八年十二月九日	農務省告示第七三三號
大正九年七月二十九日	農務省告示第七十三號
大正十年一月三十一日	農務省告示第七十四號
大正十一年一月三十一日	農務省告示第七十五號
大正十二年一月三十一日	農務省告示第七十六號
大正十三年一月三十一日	農務省告示第七十七號
大正十四年一月三十一日	農務省告示第七十八號
大正十五年一月三十一日	農務省告示第七十九號
大正十六年一月三十一日	農務省告示第八十號
昭和七年六月二十一日	農務省告示第九十號

產業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル市街地ヲ左ノ通り指定ス

- (北海道廳) 夕張町 留萌町 岩内町 岩見澤町 網走町 余市町 野付牛町 帶廣町
- (京都府) 新舞鶴町 舞鶴町 宮津町 (神奈川縣) 小田原町 (兵庫縣) 洲本町 御影町 住吉村 (長崎縣) 島原町 湊町 (新潟縣) 新發田町 三條町 (埼玉縣) 熊谷町
- 浦和町 忍町 本庄町 大宮町 深谷町 秩父町 (群馬縣) 伊勢崎町 館林町 (千葉縣) 本銚子町 佐原町 (茨城縣) 石岡町 結城町 (栃木縣) 栃木町 佐野町 鹿沼町 足尾町 (三重縣) 桑名町 上野町 松坂町 (愛知縣) 津島町 西尾町 半田町
- 龜崎町 (靜岡縣) 三島町 島田町 大宮町 (滋賀縣) 彦根町 長濱町 (岐阜縣) 中津町 高山町 多治見町 豐岡町 (長野縣) 飯田町 (宮城縣) 石卷町 鹽釜町 (福島縣) 平町 白河町 須賀川町 (山形縣) 酒田町 新庄町 (秋田縣) 能代港町 土

- 崎港町 横手町 (福井縣) 敦賀町 (石川縣) 小松町 七尾町 (富山縣) 魚津町 新湊町 (岡山縣) 玉島町 (山口縣) 防府町 徳山町 柳井町 (和歌山縣) 新宮町 日方町 黒江町 (徳島縣) 撫養町 (香川縣) 坂出町 觀音寺町 (愛媛縣) 八幡濱町 (大分縣) 臼杵町 (大阪府) 池田町

臺灣ニ於ケル市街地ノ指定左ノ如シ
大正六年十一月二十二日臺灣總督告示第四百一十一號
大正十二年十二月十四日臺灣總督告示第二十一號

- (臺北州) 宜蘭街 淡水街 新莊街 (新竹州) 新竹街 桃園街 (臺中州) 彰化街 鹿港街 豐原街 員林街 南投街 (臺南州) 嘉義街 斗六街 北港街 (高雄州) 屏東街 東港街 (花蓮港廳) 花蓮港街

六 昭和七年法律第三十號產業組合法中改正法律附則第二條ノ產業組合又ハ産業組合聯合會ノ組織變更ニ關スル件

昭和七年九月三十日勅令第二百七十六號

昭和七年法律第三十號附則第二條ノ產業組合ニ於テ同法附則第三條第一項ノ規定ニ依リ組織變更ノ決議アリタルトキハ遲滯ナク其ノ決議ニ

產業組合法第一條ノ規定ニヨル市街地指定ノ件

賛成シタル組合員以外ノ組合員ニ對シ組織變更ニ同意セサルモノハ通知ヲ受ケタル日ヨリ三週間以内ニ其ノ旨ヲ申出ツル場合ニ限り組織變更ノ時ニ於テ脱退シタルモノト看做サルル旨ノ通知ヲ爲スヘシ
前項ノ決議ニ賛成シタル組合員以外ノ組合員ニシテ前項ノ期間内ニ又ハ前項ノ通知ヲ受クル迄ノ間ニ組合ニ對シ組織變更ニ同意ヲ爲ササル旨ノ申出ヲ爲シタルモノハ組織變更ノ時ニ於テ脱退シタルモノト看做ス
前二項ノ規定ハ昭和七年法律第三十號附則第二條ノ産業組合聯合會ニ之ヲ準用ス

附 則

本令ハ昭和七年法律第三十號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

七 産業組合法第一條第八項ノ規定ニ依ル

利用組合ノ設備指定ニ關スル件

大正十五年五月十九日 勅令第三百三十一號

産業組合法第一條第八項ノ規定ニ依リ利用組合ノ設備ニシテ組合員タルコトヲ得サル者ヲシテ利用セシムルコトヲ得ルモノヲ指定スルコト左ノ如シ

電氣設備、水道、浴場、種畜、乾繭裝置

附 則

本令ハ大正十五年法律第五十四號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

八 産業組合法第六條ノ三ノ規定ニ依ル主務大臣ノ職權ノ一部委任ニ關スル件

昭和七年十月二十五日農林省令第三十三號

第一條 産業組合法第六條ノ三第一項ノ規定ニ依ル主務大臣ノ職權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル組合ニ關スルモノニ在リテハ同法第八條ハ

第三十九條第三項、第五十九條、第六十條、第六十一條、第六十二條ノ二第一項及第六十五條ニ規定スルモノヲ除クノ外、其ノ他ノ組合ニ在リテハ同法第五十九條、第六十條及第六十一條ニ規定スルモノヲ除クノ外主タル事務所所在地ノ地方長官ニ之ヲ委任ス

一 二道府縣ノ區域ノ全部ヲ區域トスル組合
二 區域カ二以上ノ道府縣ノ區域ヲ超ユル組合

第二條 産業組合法第六條ノ三第一項ノ規定ニ依ル主務大臣ノ職權中同法第五十九條、第六十條及第六十一條ニ規定スルモノハ組合ノ主タル事務所所在地ノ地方長官ニ於テモ之ヲ行フコトヲ得但シ前條各號ニ掲クル組合ノ解散ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三條 前二條ノ規定ハ産業組合法第八十一條ノ規定ニ依リ準用セララルル同法第六條ノ三第一項ノ規定ニ依ル主務大臣ノ職權ニ之ヲ準用ス但シ全國ヲ區域トスル聯合會ニ關スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四條 産業組合法施行規則第二十條第二項ノ規定ハ第一條又ハ前條本ノ規定ニ依リ主務大臣ノ職權ノ一部委任アリタル組合及聯合會ニ付テハ之ヲ適用セス

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(昭和七年十月二十五日)

九 産業組合中央會ノ設立及事業ニ關スル件

明治四十二年八月二十日勅令第二百十三號

第一條 産業組合中央會ヲ設立セムトスル者ハ申請書ニ定款ヲ添附シ之ヲ農商務大臣ニ差出シ發起ノ認可ヲ受クヘシ
第二條 發起ノ認可アリタルトキハ發起人ハ期限ヲ定メテ會員ヲ募集シ農商務大臣ノ認可ヲ得テ創立總會ヲ招集シ定款ヲ議定スヘシ
前項定款ノ議定ハ出席者ノ三分二以上ノ同意ヲ以テ之ヲ決ス

産業組合ニ關スル省令

第三條 創立總會ノ議決權ハ書面又ハ代理人ヲ以テ之ヲ行フコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ議決權ヲ行フ者ハ之ヲ出席者ト看做ス

第四條 創立總會ヲ終リタルトキハ發起人ハ申請書ニ定款及創立總會

ノ決議録ノ謄本ヲ添附シ之ヲ農商務大臣ニ差出シ設立ノ許可ヲ受ク

第五條 設立ノ許可アリタルトキハ發起人ハ其ノ事務ヲ理事ニ引繼ク

ヘシ

第六條 産業組合中央會ハ産業組合法第八十二條第三項ニ依リ其ノ會

員タル産業組合又ハ産業組合聯合會ニ對シ同法第一條第一項第三號

及第四號ノ事業ヲ行フコトヲ得但シ加工ニ關スル事業ニ付テハ此ノ

限ニ在ラス

附則

本令ハ明治四十二年法律第二十七號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

一〇 産業組合登記取扱手續

明治四十二年八月十六日司法省令第十七號
改正大正二年五月二十二日司法省令第二十二號
改正大正六年十月二十七日司法省令第八號
改正大正七年三月二十五日司法省令第一號

第一條 産業組合登記簿ハ附錄第一號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之

ヲ調製スヘシ

第二條 産業組合聯合會登記簿ハ附錄第一號雛形ニ依リ地方裁判所ニ

於テ之ヲ調製スヘシ

第三條 産業組合中央會登記簿ハ附錄第二號雛形ニ依リ地方裁判所ニ

於テ之ヲ調製スヘシ

第四條 産業組合登記見出帳ハ附錄第三號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第五條 産業組合登記受附帳ハ附錄第四號雛形ニ依リ毎年之ヲ調製ス

ヘシ
受附番號ハ一箇年毎ニ更新スヘシ

第六條 登記所ニハ左ノ帳簿ヲ備フヘシ

一 囑託書類綴込帳

二 決定原本綴込帳

三 抗告書類綴込帳

四 登記済證交付帳

五 謄本抄本證明書交付帳

六 受領證原符元帳

第七條 前條ノ帳簿ハ一箇年毎ニ別冊ト爲スヘシ但シ分冊スルコトヲ妨ケス

第八條 組合原簿ハ附録第五號乃至第七號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

聯合會原簿ハ附録第五號雛形及第七號雛形ニ準シ之ヲ調製スヘシ

第九條 組合原簿及聯合會原簿ニハ強靱ナル美濃紙ヲ用ウヘシ

第十條 組合原簿及聯合會原簿ニハ組合ノ代表者其ノ表紙ニ署名捺印シ且毎葉ノ綴目ニ契印ヲ爲スヘシ

第十一條 組合原簿及聯合會原簿ハ永久ニ之ヲ保存スヘシ

産業組合登記受附帳ハ十年間之ヲ保存スヘシ

決定原本綴込帳及抗告書類綴込帳ハ五年間之ヲ保存スヘシ

登記済證交付帳、謄本抄本證明書交付帳及受領證原符元帳ハ三年間之ヲ保存スヘシ

前三項ノ帳簿ノ保存期間ハ當該年度ノ翌年ヨリ之ヲ起算ス

第十二條 産業組合登記又ハ組合原簿ノ記載ノ囑託書ニハ其ノ登記又

ハ記載ニ關スル届書ノ外總會若ハ總代會ノ決議又ハ總組合員ノ同意

ヲ要スル事項ニ付キ其ノ決議又ハ同意アリタルコト、産業組合法第

四十條第二項及第四十一條第二項ノ手續ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ

手續ヲ踐ミタルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第十三條 削除（大正七年三月法律第十四號ヲ以テ登録税法改正ニ依

ル、同法第十九條參照）

第十四條 組合ノ區域ノ登記ハ登記用紙中豫備欄ニ之ヲ爲スヘシ

第十五條 組合ノ事務所ノ移轉又ハ合併ニ因リ産業組合法第十四條第一項ニ定ムル登記ヲ爲シタルトキハ登記用紙中豫備欄ニ其ノ事由ヲ記載スヘシ

第十六條 主タル事務所ニ非サル事務所ノ廢止ノ登記ヲ爲シタルトキハ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ但シ登記所ノ管轄内ニ他ノ事務所アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 理事又ハ監事ノ再選ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ登記スルヲ以テ足ル

第十八條 産業組合法第十六條ノ六第二項ノ組合原簿ハ前ニ送付ヲ受ケタル組合原簿ニ編綴シ登記官吏其ノ綴目ニ契印ヲ爲スヘシ

第十九條 組合原簿ノ記載ノ變更ハ其ノ變更欄ニ之ヲ記載シ變更シタル事項ヲ朱抹スヘシ

第二十條 行政區劃又ハ土地ノ名稱ノ更正ヲ爲スニハ登記簿ノ記載ニ付テハ登記用紙中變更欄ニ、組合原簿ノ記載ニ付テハ原簿ノ表紙ノ裏面ニ新舊ノ名稱及變更アリタル旨ヲ記載シ登記官吏之ニ捺印スルヲ以テ足ル

第二十一條 組合原簿ニハ其ノ表紙ニ登記番號並受付ノ年月日及番號ヲ記載スヘシ

第二十二條 組合原簿ハ之ヲ合綴スルコトヲ得合綴シタル帳簿ニハ目錄ヲ附スヘシ

第二十三條 無限責任組合原簿又ハ保證責任組合原簿ノ甲部用紙中或變更欄ニ餘白ナキニ至リタルトキハ登記官吏ハ其ノ組合原簿ニ甲部

用紙ノ繼續用紙ヲ編綴シ前用紙及繼續用紙ニ交互參看ノ記載ヲ爲スヘシ

前用紙中他ノ變更欄ニ餘白アルトキハ其ノ欄ニ記載スヘキ事項ニ付テハ仍之ニ記載ヲ爲スヘシ

第二十四條 前條ノ規定ハ無限責任組合原簿又ハ保證責任組合原簿ノ

乙部用紙及有限責任組合原簿ニ之ヲ準用ス但シ無限責任組合原簿又

ハ保證責任組合原簿ノ繼續用紙ニハ組合員ノ氏名、住所、保證責任組合ニ在リテハ保證金額ヲ移記スヘシ
 第二十五條 清算終了ノ登記ハ登記用紙中豫備欄ニ之ヲ爲スヘシ
 第二十六條 産業組合聯合會ノ登記ノ囑託書其ノ他ノ書類ノ受附ニ關スル記載ハ産業組合登記受附帳ニ之ヲ爲スヘシ
 第二十七條 産業組合聯合會ノ登記及産業組合聯合會原簿ノ記載ニ付テハ産業組合ノ登記及産業組合原簿ノ記載ニ關スル規定ヲ準用ス
 第二十八條 第十二條、第十三條、第十五條乃至第十七條、第二十條、第二十五條及第二十六條ノ規定ハ産業組合中央會ノ登記ニ之ヲ準用ス
 第二十九條 不動産登記法施行細則第四條、第五條、第二十條乃至第二十四條、第三十三條乃至第三十五條ノ二、第三十六條、第三十七條、第三十九條、第四十七條及商業登記取扱手續第九條、第十條乃至第十三條、第十五條乃至第二十條、第二十一條第五項、第二十三

條乃至第二十八條、第二十九條乃至第三十三條、第四十四條、第四十四條ノ八乃至第四十六條、第四十九條ノ三ノ規定ハ産業組合、産業組合聯合會及産業組合中央會ノ登記ニ之ヲ準用ス

不動産登記法施行細則第四條 登記簿及ヒ共同人名簿ハ登記所ノ請求ニ因リ地方裁判所長之ヲ交付スヘシ
 登記所ハ翌年中ニ必要ナル帳簿ノ冊數及ヒ各冊ノ枚數ヲ見積リ毎年十一月中ニ請求ヲ爲スヘシ

豫定外ニ帳簿ノ必要ヲ生シタルトキハ臨時其請求ヲ爲スコトヲ得
 同第五條 登記簿及ヒ共同人名簿ノ用紙ニハ豫メ丁數ヲ記入スヘシ
 同第二十條 事變ヲ避クル爲メ登記簿又ハ其附屬書類ヲ登記所外ニ持出シタルトキハ登記官吏ハ速ニ其旨ヲ司法大臣ニ具申スヘシ

同第二十一條 裁判所又ハ豫審判事ヨリ申請書其他ノ附屬書類ヲ送付スヘキ命令又ハ囑託アリタルトキハ登記官吏ハ其關係アル部分ニ限り之ヲ送付スヘシ
 同第二十二條 登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタルトキハ登記官吏ハ遲滞ナク其事由、年月日、滅失セシ登記簿ノ冊數其他不動産登記法第二十三條ノ告示ヲ爲スニ必要ナル事項ヲ詳細ニ記載シ且回復登記期間ヲ豫定シ地方裁判所長ニ申報スヘシ但區裁判所出

張所ノ申報ハ管轄區裁判所ヲ經由スヘシ
地方裁判所長カ前項ノ申報ヲ受ケタルトキハ相當ノ調査ヲ爲シタル後司法大臣ニ具申
ヲ爲スヘシ

(不動産登記法第二十三條)登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタル場合ニ於テハ司法大
臣ハ三ヶ月ヨリ少カラサル期間ヲ定メ其期間内ニ登記ノ回復ヲ申請スル者ハ仍ホ其
登記簿ニ於ケル順位ヲ有スヘキ旨ヲ告示スルコトヲ要ス

同第二十三條 登記簿及ヒ其附屬書類ノ滅失スル虞アルトキハ詳細其狀況ヲ取調ヘ且處
分方法ヲ具シ前條ノ例ニ準シ申報又ハ具申ヲ爲スヘシ

同第二十四條 登記所ニ於テ登記ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ廢毀セントスルトキハ目錄ヲ
作り地方裁判所長ノ認可ヲ受クヘシ但區裁判所出張所カ認可ヲ請フトキハ管轄區裁判
所ヲ經由スヘシ

同第三十三條 不動産登記法第二十一條第二項ノ郵送料ハ郵便切手ヲ以テ之ヲ納付スヘ
シ

(不動産登記法第二十一條第二項)手数料ノ外郵送料ヲ納付シテ登記簿ノ謄本又ハ抄
本ノ送付ヲ請求スルコトヲ得

同第三十四條 登記官吏カ第二十九條ノ申請書ヲ受取りタルトキハ受付帳ニ請求ノ目
的、申請人ノ氏名、受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シタル上受附番號ノ順序ニ從ヒ

テ相當ノ處分ヲ爲スヘシ

同第三十五條 登記簿ノ謄本ハ登記簿ト同一様式ノ用紙ヲ以テ之ヲ作り其末尾ニ左ノ認
證文ヲ記載シタルモノヲ添附シテ契印ヲ爲シ登記官吏之ニ年月日ヲ記載シテ署名捺印
シ且登記所ノ印ヲ押捺スヘシ

此謄本ハ登記簿ニ依リ之ヲ作り茲ニ登記簿ト相違ナキコトヲ認證ス
前項ノ規定ハ登記簿ノ抄本ニ之ヲ準用ス但抄本用紙ハ半紙罫紙ヲ用ユヘシ

同第三十五條ノ二 登記簿ノ謄本ハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外登記簿一用紙ノ全
部ヲ遺漏ナク謄寫シテ之ヲ作ルヘシ但請求ニ因リ抹消ニ係ラサル登記ノミヲ謄寫シテ
之ヲ作ルコトヲ得此場合ニ於テハ認證文ニ其旨ヲ附記スヘシ

同第三十六條 登記簿ノ謄本又ハ抄本ヲ交付スルトキハ謄本抄本交付帳ニ謄本又ハ抄本
ノ區別、數、交付ノ年月日及ヒ申請人ノ氏名ヲ記載スヘシ

同前項ノ規定ハ登記簿ノ謄本ヲ他ノ登記所ニ移送スル場合ニ之ヲ準用ス

同第三十七條 登記簿又ハ附屬書類ノ閱覽ハ登記官吏ノ面前ニ於テ之ヲ爲サシムヘシ
同第三十九條 申請書カ數葉ニ涉ルトキハ申請人ハ每葉ノ綴目ニ契印スヘシ但登記權利
者又ハ登記義務者カ多數ナルトキハ其一人ノ契印ヲ以テ足ル

同第四十七條 登記官吏カ申請書ヲ受取りタルトキハ遲滯ナク申請ニ關スル總テノ事項
ヲ調査スヘシ

產業組合登記取扱手續

商業登記取扱手續第九條 申請書、囑託書、通知書、届書、許可書、管轄轉屬ニ因リ移

送テ受ケタル登記簿謄本其他附屬書類ハ之ニ登記簿ノ册数及ヒ其丁数ヲ記載シ受附番

號ノ順序ニ依リテ申請書類綴込帳ニ之ヲ編綴スヘシ

登記簿ノ種類ニ依リ前項ノ綴込帳ヲ分册シタルトキハ其表紙ニ登記簿ノ種類ヲ示スヘ

キ文字ヲ記載スヘシ

同第十條 登記簿若クハ附屬書類ノ閲覧又ハ登記簿ノ謄本若クハ抄本ノ交付ヲ請求スル

者ハ申請書ヲ提出スヘシ

同第十一條 登記簿又ハ附屬書類ノ閲覧ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ左ノ事項ヲ記

載シ申請人署名捺印スヘシ但附屬書類ノ閲覧ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ利害ノ

- 一 登記簿ノ種類
- 二 閲覧セント欲スル登記事項
- 三 登記所ノ表示
- 四 年月日

同第十二條 登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ左ノ事項ヲ

記載シ申請人署名捺印スヘシ

- 一 登記簿ノ種類
- 二 謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル登記事項
- 三 手数料ノ金額
- 四 登記所ノ表示
- 五 年月日

登記簿ノ抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ前項ニ掲ケタル事項ノ外抄本ノ

交付ヲ請求スル部分ヲモ記載スヘシ

同第十三條 登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ請求スル者ハ

申請書ニ通テ提出スヘシ

前項ノ申請書ニハ證明ヲ請求スル事項及ヒ年月日ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ

登記官吏ハ申請書ノ一通ニ證明文ヲ附シ年月日ヲ記載シテ署名捺印シ且登記所ノ印ヲ

押捺シテ之ヲ申請人ニ交付スヘシ

同第十五條 登記官吏カ申請書ヲ受取リタルトキハ受附帳ニ登記ノ目的、申請人ノ氏名、

(會社カ申請人ナルトキハ其商號)受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ申請書ニ受附ノ

年月日及ヒ受附番號ヲ記載スヘシ

同第十八條 登記ヲ爲スニハ登記用紙中相當欄ニ登記事項及ヒ登記ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

登記用紙中或欄ニ登記事項ヲ記載スルコトナクシテ登記ヲ完了シタルトキハ其空欄ニ朱線ヲ交又スヘシ但後日登記スルコトアルヘキ事項ノ爲メ設ケタル欄ニ付テハ此限ニ在ラス

登記用紙中或欄ニ登記事項ヲ記載シタル場合ニ於テ同欄内ニ餘白アルトキハ其餘白ニ朱線ヲ交又スヘシ

變更欄ニ登記ヲ爲シタルトキハ其左側ニ縦線ヲ劃シテ餘白ト分界スヘシ

同第十九條 變更ノ登記又ハ登記ノ更正ヲ爲シタルトキハ變更又ハ更正シタル登記事項ヲ朱抹スヘシ

同第十九條ノ二 抹消ノ登記ヲ爲シタルトキハ抹消スヘキ登記事項ヲ朱抹スヘシ但抹消ノ登記ヲ爲シタルニ因リ登記用紙ヲ閉鎖スヘキ場合ハ此限ニ在ラス

同第二十條 登記用紙ヲ閉鎖スルニハ登記番號ヲ朱抹スヘシ

同第二十一條第五項 破産法第二百二十二條及ヒ和議法第八條ノ規定ニ依ル登記ハ豫備欄ニ之ヲ爲スヘシ

(破産法第十九條 法人ニ對シテ破産ノ宣告ヲ爲シタルトキハ裁判所ハ職權ヲ以テ遲滯ナク囑託書ニ破産決定書ノ謄本ヲ添附シテ破産ノ登記ヲ各營業所又ハ各事務所ノ所在地ノ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス)

(同第二十條 裁判所カ破産者ニ關スル登記アルコトヲ知リタルトキハ職權ヲ以テ遲滯ナク囑託書ニ破産決定書ノ謄本ヲ添附シテ破産ノ登記ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス破産財團ニ屬スル權利ニシテ登記シタルモノアルコトヲ知リタルトキ亦同シ)

(同第二十一條 前二條ノ規定ハ破産取消、破産廢止又ハ強制和議取消ノ決定カ確定シタル場合及破産終結ノ決定アリタル場合ニ之ヲ準用ス破産管財人カ破産ノ登記アリタル權利カ破産財團ヨリ拋棄シタル場合ニ於テ登記囑託ノ申立アリタルトキ亦同シ)

(同第二百二十二條 登記所カ前三條ノ規定ニ依リテ登記ノ囑託ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク其ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス)

(前項ノ登記ニ付テハ登録稅ヲ課セス)

(和議法第八條 破産法第十九條乃至第二百二十二條及第二百二十四條ノ規定ハ和議開始、和議開始決定取消又ハ和議廢止ノ決定アリタル場合及和議認否又ハ和議取消ノ決定カ確定シタル場合ニ之ヲ準用ス)

同第二十三條 非訟事件手續法第四百八條(既出)ノ規定ニ依リ登記ノ更正ノ申請アリタルトキハ登記用紙中變更欄ニ其登記ヲ爲スヘシ

同第二十四條 登記用紙中或欄カ登記ヲ爲スヘキ餘白ナキニ至リタルトキハ新用紙中登記番號ノ右側ニ其番號ノ第二ナルコト並ニ前用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ

産案組合登記取扱手續

其繼續用紙ナルコトヲ記載シ且前用紙中登記番號ノ左側ニ第一ノ文字並ニ新用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ之ニ繼續スル旨ヲ記載スヘシ
前用紙中他ノ欄ニ餘白アルトキハ其欄ニ登記スヘキ事項ニ付テハ仍ホ之ニ登記ヲ爲スヘシ

前二項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設クル場合ニ之ヲ準用ス
同第二十五條 登記ヲ爲シ又ハ申請書其他登記ニ關スル書面ヲ作ルニハ字畫ヲ明瞭ニスヘシ

金錢其他ノ物ノ數量、年月日及ヒ番號ヲ記載スルニハ壹貳參拾ノ字ヲ用ユヘシ
文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス若シ訂正、挿入又ハ削除ヲ爲シタトキルハ其字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ之ニ捺印シ其削除ニ係ル文字ハ尙ホ讀得ヘキ爲メ字體ヲ存スヘシ

同第二十六條 登記ノ公告ハ登記ヲ爲シタル登記所ノ名ヲ以テ之ヲ爲スヘシ
同第二十七條 登記ノ申請人ハ登記濟證ノ交付ヲ請求スルコトヲ得
登記官吏カ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ附錄第十三號雛形ニ依リ登記濟證ヲ交付スヘシ

同第二十八條 商業登記簿ノ見出帳ニハイロハ順ニ依リ豫メイノ部ヨリスノ部マテテ設ケ置キ登記用紙ニ登記番號ヲ記載スル毎ニ登記用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及

ヒ登記番號ヲ記入スヘシ

同第二十九條 登記用紙ヲ閉鎖シタルトキハ見出帳中備考欄ニ其事由ヲ記載シテ其見出

同第三十條 商號ノ變更又ハ未成年者、妻、法定代理人若クハ支配人ノ氏名ノ變更ノ登記ヲ爲シタルトキハ見出帳中更ニ相當ノ部ニ其見出ヲ移シ前ノ見出ノ備考欄ニ第何冊第何丁ニ移シタル旨ヲ記載シテ其見出ヲ朱抹スヘシ

同第三十一條 甲登記所ノ管轄地ノ一部カ乙登記所ノ管轄ニ轉屬シタルトキハ甲登記所ハ其部分ニ屬スル登記簿又ハ其謄本及ヒ附屬書類又ハ其謄本ヲ乙登記所ニ移送スヘシ
但登記簿ノ謄本ニハ現存セル登記ノミヲ謄寫スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ甲登記所ノ登記用紙中豫備欄ニ管轄變更ニ因リ轉出シタル旨及ヒ其年月日ヲ記載シ登記官吏捺印シ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

同第三十二條 前條ノ規定ニ依リ登記簿ノ謄本及附屬書類又ハ其謄本ノ移送ヲ受ケタルトキハ乙登記所ハ登記簿ノ謄本ニ依リ登記簿ニ登記ヲ移スヘシ
登記簿ニ登記ヲ移スニハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其左側ニ前登記管轄ノ表示ヲ爲シ前登記番號ヲ記載シ豫備欄ニ管轄變更ニ因リ轉入シタル旨及ヒ其年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

同第三十三條 會社ノ商號ハ商號登記簿ニ登記スルコトヲ要セス
産業組合登記取扱手續

同第四十四條 會社カ其本店又ハ支店ヲ登記所ノ管轄外ニ移轉シタル場合ニ於テ移轉ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

前項ノ規定ハ登記所ノ管轄内ニ本店又ハ他ノ支店アル場合ニハ之ヲ適用セス

同第四十四條ノ八 非訟事件手續法第五百十一條ノ二第一項ノ通知ニハ登記ヲ爲シタル事件ノ表示及ヒ其登記カ商法又ハ非訟事件手續法ノ規定ニ依リテ許スヘカラサルモノナルコトヲ記載スヘシ

同第四十四條ノ九 非訟事件手續法第五百十一條ノ四ノ規定ニ依リ抹消ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ其事由ヲモ記載スヘシ

同第四十四條ノ十 非訟事件手續法第五百十一條ノ六第二項ノ規定ニ依リ登記ノ更正ヲ爲ス場合ニ於テハ許可ヲ爲シタル裁判所ノ名稱及ヒ許可ノ年月日ヲモ記載スヘシ

同第四十五條 會社登記簿ニ清算終了ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

同第四十六條 登記ノ申請書ニ添附シタル書類ノ原本ノ還付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請人ハ其原本ト共ニ原本ニ相違ナキ旨ヲ記載シタル謄本ヲ添附スヘシ

登記官吏カ書類ノ原本ヲ還付スルトキハ其原本ニ原本還付ノ旨ヲ記載シテ捺印スヘシ

同第四十九條ノ三 登記官吏カ其職務上漏料ニ處セラルヘキ者アルコトヲ知りタルトキハ遲滞ナク其事件ヲ管轄地方裁判所長ニ通知スヘシ

附 則

本令ハ大正六年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十二年司法省令第十七號產業組合登記取扱手續第五十一條乃至第五十三條ノ規定ハ仍其ノ效力ヲ有ス但シ届出及組合原簿ノ送付ニ付テハ本令ノ規定ニ依ル

本令施行前ニ生シタル事項ニシテ未タ登記ノ手續ヲ經サルモノニ付テハ本令ヲ適用ス

從前ノ印鑑簿ハ適宜之ヲ廢毀スヘシ

參照 明治四十二年司法省令第十七號產業組合登記取扱手續第五十一條乃至第五十三條ノ規定ハ次ノ如シ

第五十一條 本令施行前ニ設立ノ登記ヲ爲シタル組合カ產業組合法第十五條第一項第一號及第二號ニ掲ケタル事項ニ變更ヲ生シタルニ因リ組合原簿ノ記載ノ變更ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ更ニ本令ニ定メタル組合原簿ヲ差出スヘシ

前項ノ組合原簿ニハ變更前ノ出資ノ總口數及拂込ミタル出資ノ總額ヲ記載スヘシ

第五十二條 本令施行前ニ登記シタル事項ノ變更又ハ消滅ノ登記ハ從來ノ登記簿ニ之ヲ爲

産業組合登記取扱手續

<p>附録第三號</p> <p>産業組合登記見出帳</p> <p>區裁列所</p>

部 /					部 /				
名稱					名稱				
冊	丁	數	登	記	冊	丁	數	登	記
番	番	番	番	番	番	番	番	番	番
號	號	號	號	號	號	號	號	號	號
ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
備	考	備	考	備	考	備	考	備	考

更 變	更 變
更 變	更 變

更 變	更 變
更 變	更 變

産業組合登記取扱手續

部 乙

更	變	組合員ノ住所氏名	更	變	組合員ノ住所氏名
更	變	組合員ノ住所氏名	更	變	組合員ノ住所氏名

附録第七號

保證責任何々組合ノ稱組合原簿

附録第六號

無限責任何々組合ノ稱組合原簿

部 甲

更	變	更	變	出資ノ口數	稱名
更	變	更	變	出資ノ口數	稱名

部 甲

更	變	出資ノ口數	稱名
		總額	出資ノ口數

部 乙

更	變	組合員ノ氏名住所	保證金額

二 産業組合登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ノ請求等ニ關スル手數料ノ件

明治三十三年七月司法省令第三十號
改正明治四十二年八月司法省令第十八號

産業組合登記簿、産業組合聯合會登記簿及ヒ産業組合中央會登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ノ請求等ニ關スル手數料ニ付テハ明治三十二年司法省令第十四號第一條及第三條乃至第六條ノ規定ヲ準用ス

明治三十二年司法省令第十四號第一條 不動産登記法第二十一條又ハ非訟事件手續法第百四十二條(既出)ノ規定ニ依リ登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者ハ其ノ用紙一枚ニ付キ手數料金十五錢ヲ納ムヘシ但一枚ニ滿テサルモノト雖モ仍ホ之ヲ一枚ニ計算ス

同第三條 非訟事件手續法第百四十三條(既出)ノ規定ニ依リ登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ請求スルモノハ每一件手數料金十五錢ヲ納ムヘシ
同第四條 明治三十二年司法省令第十三號第二十七條ノ規定ニ依リ商業登記ニ付キ登記簿ノ交付ヲ請求スル者ハ手數料金十錢ヲ納ムヘシ
同第五條 手數料ハ收入印紙ヲ申請書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ

産業組合登記取扱手續

同第六條 第一條乃至第三條ノ規定ハ官吏又ハ公吏カ政府ノ利益ノ爲メ其ノ職務ヲ以テ
請求ヲ爲ス場合ニハ之ヲ適用セス
本令ハ明治四十二年法律第二十七號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

三 産業組合ニ關スル登記事務取扱所

明治三十三年七月
司法省令第二十四號

産業組合ニ關スル登記ノ事務ハ商業登記ヲ取扱フ登記所ニ於テノミ之ヲ取扱ハシム

三 養蠶實行組合及農事實行組合登記取扱手續

昭和六年六月十六日司法省令第十六號
改正昭和七年九月二十八日司法省令第三十九號

第一條 養蠶實行組合及農事實行組合ニ關スル登記ノ事務ハ商業登記
ヲ取扱フ登記所ニ於テ之ヲ取扱フ

第二條 養蠶實行組合登記簿及農事實行組合登記簿ハ附録第一號様式
ニ依リ地方裁判所長ニ於テ之ヲ調製シ登記所ノ請求ニ因リ交付スヘ

第三條 登記簿ニハ豫メ丁數ヲ記入スヘシ

第四條 受附帳ハ附録第二號様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第五條 事變ヲ避クル爲登記簿又ハ申請書其ノ他ノ附屬書類ヲ登記所
外ニ持出シタルトキハ登記官吏ハ速ニ其ノ旨ヲ司法大臣ニ具申スヘ

第六條 裁判所又ハ豫審判事ヨリ申請書其ノ他ノ附屬書類提出ノ命令
又ハ送付ノ囑託アリタルトキハ登記官吏ハ其ノ關係アル部分ニ限り
之ヲ送付スヘシ

第七條 登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタルトキハ登記官吏ハ遲滯ナ
ク其ノ事由、年月日、滅失シタル登記簿其ノ他登記ノ回復ニ必要ナ
ル事項ヲ詳細ニ記載シ且回復登記期間ヲ豫定シ地方裁判所長ニ申報
スヘシ但シ區裁判所出張所ノ申報ハ管轄區裁判所ヲ經由スヘシ
地方裁判所長前項ノ申報ヲ受ケタルトキハ相當ノ調査ヲ爲シタル後

司法大臣ニ具申スヘシ

第八條 登記簿又ハ申請書其ノ他ノ附屬書類滅失ノ虞アルトキハ詳細其ノ狀況ヲ調査シ且適當ナル處理方法ヲ具シ前條ノ例ニ準シ申報及具申ヲ爲スヘシ

第九條 登記所ニハ印鑑簿、受附帳、申請書類綴込帳及謄本抄本證明書交付帳其ノ他必要ナル帳簿ヲ備フヘシ

第十條 申請書、囑託書、通知書、許可書、管轄轉屬ニ因リ移送ヲ受ケタル登記簿謄本其ノ他附屬書類ハ受附番號ノ順序ニ依リ申請書類綴込帳ニ之ヲ編綴スヘシ

第十一條 印鑑ハ附錄第三號様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第十二條 印鑑簿調製ノ様式及貼付ノ方法等ハ地方裁判所長之ヲ定ムヘシ

第十三條 印鑑簿ハ永久ニ之ヲ保存スヘシ

受附帳及申請書類綴込帳ハ十年間其ノ他ノ帳簿ハ三年間之ヲ保存ス

ヘシ

前項ノ保存期間ハ當該年度ノ翌年ヨリ之ヲ起算ス

第十四條 登記所ニ於テ登記ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ廢毀セントスルトキハ目錄ヲ作り地方裁判所長ニ申報スヘシ但シ區裁判所出張所ノ申報ハ管轄區裁判所ヲ經由スヘシ

第十五條 登記ノ申請ハ申請人又ハ其ノ代理人登記所ニ出頭シテ之ヲ爲スヘシ

第十六條 代理人ニ依リテ申請又ハ請求ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ權限ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第十七條 理事其ノ他法律ニ依リ登記ノ申請ヲ爲スヘキ者ハ就職後遲滯ナク其ノ印鑑ヲ登記所ニ提出スヘシ改印ヲ爲シタルトキ亦同シ

第十八條 登記ヲ爲シ又ハ申請書其ノ他登記ニ關スル書面ヲ作ルニハ字畫ヲ明瞭ニスヘシ

年月日及番號ヲ記載スルニハ壹貳參拾ノ文字ヲ用フヘシ

文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス訂正、挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其ノ字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ之ニ捺印シ其ノ削除ニ係ル文字ハ仍讀ミ得ヘキ爲字體ヲ存スヘシ

第十九條 申請書カ數葉ニ涉ルトキハ申請人ハ每葉ノ綴目ニ契印スヘシ但シ其ノ者カ多數ナルトキハ其ノ一人ノ契印ヲ以テ足ル

第二十條 登記ノ申請書ニ添附シタル書類ノ原本ノ還付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請人ハ其ノ原本ト共ニ原本ニ相違ナキ旨ヲ記載シタル謄本ヲ添附スヘシ

登記官吏カ書類ノ原本ヲ還付スルトキハ其ノ謄本ニ原本還付ノ旨ヲ記載シテ捺印スヘシ

第二十一條 登記簿若ハ申請書其ノ他ノ附屬書類ノ閱覽又ハ登記簿ノ謄本若ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者ハ申請書ヲ提出スヘシ

第二十二條 登記簿又ハ申請書其ノ他ノ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ閱覽セントスル登記事項又ハ書類ヲ記載シ申請

人之ニ署名捺印スヘシ

申請書其ノ他ノ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ利害ノ關係ヲ説明スルニ足ルヘキ事由ヲ記載シ又ハ之ニ其ノ關係ヲ説明スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スヘシ

第二十三條 登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル登記及手数料ノ金額ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印スヘシ

抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ前項ニ掲ケタル事項ノ外其ノ請求スル部分ヲ記載スヘシ

第二十四條 登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ送付ヲ請求スル場合ニ於ケル郵送料ハ郵便切手ヲ以テ之ヲ納付スヘシ

第二十五條 登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ請求スル者ハ申請書ニ通ヲ提出スヘシ
前項ノ申請書ニハ證明ヲ請求スル事項ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印

スヘシ

登記官吏ハ申請書ノ一通ニ證明文ヲ附シ年月日ヲ記載シテ署名捺印シ且登記所ノ印ヲ押捺シテ之ヲ申請人ニ交付スヘシ

第二十六條 登記ノ申請人ハ申請書ヲ提出シテ登記濟證ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ申請書ニハ登記ノ件名ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印スヘシ
登記官吏ハ附録第四號様式ニ依リ登記濟證ヲ作製シ之ヲ申請人ニ交付スヘシ

第二十七條 組合カ其ノ主タル事務所ヲ登記所ノ管轄外ニ移轉シタル場合ニ於テ新所在地ノ登記所ニ移轉ノ登記ヲ申請スルトキハ申請書ニ舊所在地ニ於ケル登記簿ノ謄本ニシテ一用紙ノ全部ヲ謄寫シタルモノヲ添附スヘシ

第二十八條 登記官吏カ申請又ハ囑託ニ關スル書類ヲ受取リタルトキハ遲滯ナク總テノ事項ヲ調査スヘシ

第二十九條 登記官吏カ申請書ヲ受取リタルトキハ受附帳ニ登記ノ目的、申請人ノ氏名、受附ノ年月日及受附番號ヲ記載シ申請書ニ受附ノ年月日及受附番號ヲ記載スヘシ

前項ノ規定ハ登記官吏カ第十條ニ掲クル書類ヲ受取リタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十條 受附帳ニ申請人ノ氏名ヲ記載スル場合ニ於テ多數ナルトキハ申請書ニ掲ケタル筆頭ノ者ノミノ氏名及他ノ人員ヲ記載スルヲ以テ足ル

第三十一條 登記ヲ爲スニハ登記用紙中相當欄ニ登記事項及登記ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

登記用紙中或欄ニ登記事項ヲ記載スルコトナクシテ登記ヲ完了シタルトキハ其空欄ニ朱線ヲ交叉スヘシ但シ後日登記スルコトアルヘキ事項ノ爲設ケタル欄ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
登記用紙中或欄ニ登記事項ヲ記載シタル場合ニ於テ同欄内ニ餘白ア

ルトキハ其餘白ニ朱線ヲ交叉スヘシ豫備欄又ハ變更欄ニ登記ヲ爲シタルトキハ其ノ左側ニ縦線ヲ劃シテ餘白ト分界スヘシ

第三十二條 申請書ニ記載シタル代理人ノ氏名、住所ハ登記簿ニ之ヲ記載スルコトヲ要セス

第三十三條 登記用紙中或欄カ登記ヲ爲スヘキ餘白ナキニ至リタルトキハ新用紙中登記番號ノ左側ニ其ノ番號ノ第二ナルコト竝ニ前用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及其ノ繼續用紙ナルコトヲ記載シ且前用紙中登記番號ノ左側ニ第一ノ文字竝ニ新用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及之ニ繼續スル旨ヲ記載スヘシ
前用紙中他ノ欄ニ餘白アルトキハ其ノ欄ニ登記スヘキ事項ニ付テハ仍之ニ登記ヲ爲スヘシ

前二項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設クル場合ニ之ヲ準用ス

第三十四條 組合ノ設立ノ場合ヲ除ク外蠶絲業組合法第二十三條第二

項ニ定メタル登記ヲ爲シタルトキハ登記用紙中豫備欄ニ其ノ事由ヲ記載スヘシ

破産法第二百二十二條及和議法第八條ノ規定ニ依ル登記ハ豫備欄ニ之ヲ爲スヘシ

第三十五條 更正又ハ抹消ノ登記ハ其ノ登記用紙中變更欄ニ之ヲ爲スヘシ

第三十六條 行政區劃又ハ土地ノ名稱ノ變更アリタルトキハ登記官吏ハ登記用紙中變更欄ニ新舊ノ名稱及變更アリタル旨ヲ記載シ之ニ捺印シ其ノ記載ヲ更正スルコトヲ要ス

第三十七條 蠶絲業組合法第二十六條ニ於テ準用スル非訟事件手續法第五百十一條ノ二第一項ノ規定ニ依ル通知書ニハ登記ヲ爲シタル事件ノ表示及其ノ登記カ蠶絲業組合法又ハ産業組合法ノ規定ニ依リ許スヘカラサルモノナルコトヲ記載スヘシ

第三十八條 蠶絲業組合法第二十六條ニ於テ準用スル非訟事件手續法

第一百五十一條ノ四ノ規定ニ依リ抹消ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ事由ヲモ記載スヘシ

第三十九條 蠶絲業組合法第二十六條ニ於テ準用スル非訟事件手續法

第五百五十一條ノ六第二項ノ規定ニ依リ登記ノ更正ヲ爲ス場合ニ於テハ許可アリタル旨及其ノ年月日ヲモ記載スヘシ

第四十條 變更、更正又ハ抹消ノ登記ヲ爲シタルトキハ變更、更正又ハ抹消スヘキ登記事項ヲ朱抹スヘシ但シ抹消ノ登記ヲ爲シタルニ因

リ登記用紙ヲ閉鎖スヘキ場合ハ此ノ限ニ在ラス

抹消ノ登記ヲ更正スル場合ニ於テハ抹消セラレタル登記ヲ復活スヘシ

第四十一條 組合カ其ノ主タル事務所ヲ登記所ノ管轄外ニ移轉シタル

場合ニ於テ移轉ノ登記ヲ爲シタルトキハ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第四十二條 破産手續終結ノ登記ヲ爲シタルトキハ其ノ登記用紙ヲ閉

鎖スヘシ但シ強制和議認可決定ノ確定ニ因リ破産手續終結シタル場

合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十三條 甲登記所ノ管轄地ノ一部カ乙登記所ノ管轄ニ轉屬シタル

トキハ甲登記所ハ其ノ部分ニ屬スル登記簿ノ謄本及申請書其ノ他ノ附屬書類又ハ其ノ謄本ヲ乙登記所ニ移送スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ甲登記所ノ登記用紙中豫備欄ニ乙登記所ニ管轄變更シタル旨及其ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印シ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第四十四條 前條ノ規定ニ依リ登記簿ノ謄本及申請書其ノ他ノ附屬書

類又ハ其ノ謄本ノ移送ヲ受ケタルトキハ乙登記所ハ登記簿ノ謄本ニ依リ抹消ニ係ラサル部分ノミノ登記ヲ移スヘシ

登記簿ニ登記ヲ移スニハ登記用紙中登記番號欄ニ其ノ登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其ノ左側ニ前登記管轄ノ表示ヲ爲シ前登記番號ヲ記載シ豫備欄ニ管轄變更ニ因リ登記ヲ移シタル旨及其ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

第四十五條 登記用紙ヲ閉鎖スルニハ登記番號ヲ朱抹スヘシ
第四十六條 登記簿又ハ申請書其ノ他ノ附屬書類ノ閱覽ハ登記官吏ノ
面前ニ於テ之ヲ爲サシムヘシ

第四十七條 登記簿ノ謄本ハ登記簿ト同一様式ノ用紙ヲ以テ之ヲ作リ
其ノ末尾ニ左ノ認證文ヲ記載シタルモノヲ添附シテ每葉ノ綴目ニ契
印ヲ爲シ登記官吏之ニ年月日ヲ記載シテ署名捺印シ且登記所ノ印ヲ
押捺スヘシ

此ノ謄本ハ登記簿ニ依リ之ヲ作り茲ニ登記簿ト相違ナキコトヲ
認證ス

前項ノ規定ハ登記簿ノ抄本ニ之ヲ準用ス但シ抄本用紙ハ半紙野紙ヲ
用フヘシ

第四十八條 登記簿ノ謄本ハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外登記簿
一用紙ノ全部ヲ遺漏ナク謄寫シテ之ヲ作ルヘシ但シ請求ニ因リ抹消
ニ係ラサル登記ノミヲ謄寫シテ之ヲ作ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ

認證文ニ其ノ旨ヲ附記スヘシ

登記簿ノ謄本ニ餘白アルトキハ其ノ部分ニ朱線ヲ交叉シ又ハ餘白ナ
ルコトヲ表示スヘシ

第四十九條 登記官吏カ其ノ職務上過料ニ處セラルヘキ者アルコトヲ
知リタルトキハ遲滯ナク其ノ事件ヲ管轄地方裁判所長ニ通知スヘシ

附 則

本令ハ昭和七年法律第三十號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前調製シタル養蠶實行組合登記簿ハ既ニ登記ヲ爲シタルモノ
ナルト否トヲ問ハス當分ノ内其ノ儘之ヲ使用スルコトヲ得

本法施行前登記ヲ爲シタル事項ニシテ昭和七年法律第三十號附則第六
條ノ規定ニ依リ登記ヲ要セサルニ至リタルモノハ本令施行後遲滯ナク
之ヲ朱抹シ其ノ年月日及事由ヲ傍ニ朱書シ登記官吏捺印スヘシ

更	契
更	契

號		第		番 登 記 號	
五 所名ノ理 住氏事	四 年設 月立 日ノ	三 目 的	二 事 務 所 ノ 所 在 地	一 名 稱	及 登 記 官 印 第 一 編 マ デ 年 月 日 登 記
				六 解 散 ノ 事 由 及 年 月 日 登 記	
備 豫		七 清 人 氏 住 算 ノ 名 所			
				年 月 日 登 記	

附錄第四號

登記簿ノ種類		登記簿ノ種類	登記番号	登記ノ件名	申請人ノ氏名	登記ノ年月日
登記簿ノ種類		商業組合登記簿	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
登記番号		〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
登記ノ件名		〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
申請人ノ氏名		〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
登記ノ年月日		〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

右登記簿ナルコトヲ證ス

區裁判所

四 農事實行組合登記簿ニ關スル手数料ノ件

大正十四年司法省令第二十號中「牧野組合登記簿」ノ次ニ左ノ三號ヲ加フ

- 商業組合登記簿
- 商業組合聯合會登記簿
- 農事實行組合登記簿

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

一五 養蠶實行組合登記簿ニ關スル手数料ノ件

昭和六年六月十六日司法省令第十七號

農事實行組合登記簿ニ關スル手数料ノ件

大正十四年司法省令第二十號中「家畜保險組合登記簿」ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

養蠶實行組合登記簿

附則

本令ハ蠶絲業組合法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

六 農業倉庫業法

大正六年七月法律第十五號 同年九月一日ヨリ施行
改正大正十五年三月二十七日法律第三十二號
改正昭和九年三月十日法律第一號

第一條 本法ニ於テ農業倉庫業者トハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヲ謂
◇ 農業ヲ營ム者カ其ノ生産シタル穀物、繭其ノ他勅令ヲ以テ指定
スル物品ヲ所有スル場合、土地ニ付權利ヲ有スル者カ小作料トシ
テ受ケタル穀物其他勅令ヲ以テ指定スル物品ヲ所有スル場合又ハ
木炭ノ生産ヲ爲ス者カ其ノ生産シタル木炭ヲ所有スル場合ニ於テ

ニ於テ其ノ者ノ爲ニ本法ニ依リ之ヲ倉庫ニ保管スル者
二 販賣組合又ハ販賣組合聯合會カ賣却スル繭ヲ其ノ者ノ爲ニ本法
ニ依リ倉庫ニ保管スル者
前項ニ規定スル寄託物ニ付所有權ノ移轉アリタルトキト雖農業倉庫
業者ハ其ノ寄託物ノ保管期間内ニ限り之ヲ保管スルコトヲ得
農業倉庫業者ハ前二項ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキ場合ニ限り業務
規程ノ定ムル所ニ依リ前二項ノ規定ニ依ラス物品ノ保管ヲ爲スコト
ヲ得

第二條 農業倉庫業者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ前條ノ事業ノ外左
ノ事業ヲ爲スコトヲ得
一 受寄物ノ調製、改装又ハ荷造ヲ爲スコト
二 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ仲立ヲ爲スコト
三 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ取次ヲ爲スコト
四 自己ノ作成シタル農業倉庫證券ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコト

五 受寄物ヲ聯合農業倉庫業者ニ寄託シタル場合ニ於テ其ノ物品ノ聯合農業倉庫證券ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコト

六 他ノ農業倉庫業者カ擔保トシテ受取リタル農業倉庫證券ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコト又ハ清償メ爲スコト

第三條 農業倉庫業者ハ營利ヲ目的トシテ其ノ事業ヲ爲スコトヲ得ス

第四條 産業組合、農會、農業ノ發達ヲ目的トスル公益法人並市町村及之ニ準スヘキモノニ非サレハ第一條第一項第一號ノ農業倉庫業者タルコトヲ得ス

命令ヲ以テ指定スル産業組合聯合會ニ非サレハ第一條第一項第二號ノ農業倉庫業者タルコトヲ得ス

第五條 農業倉庫業者タル産業組合又ハ産業組合聯合會ハ産業組合法ニ規定スルモノノ外第一條及第二條ニ規定スル事業ヲ目的ト爲スコトヲ得

前項ノ産業組合又ハ産業組合聯合會ハ組合員又ハ所屬組合若ハ所屬

聯合會ノ爲ニ前項ノ事業ヲ爲スノ外附隨トシテ組合員又ハ所屬組合若ハ所屬聯合會ニ非サル者ノ爲ニ之ヲ爲スコトヲ得但シ第二條第四號乃至第六號ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

農業倉庫業者タル農會又ハ公益法人ハ第二條第四號乃至第六號ノ事業ヲ爲スコトヲ得ス

第六條 農業倉庫業者タラムトスル者ハ業務規程ヲ具シ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第七條 農業倉庫業者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ種類及品位ノ同一ナル寄託物ヲ混合シテ保管スルコトヲ得

第七條ノ二 農業倉庫業者ハ寄託者ノ請求ニ因リ寄託物ノ倉荷證券ヲ交付スルコトヲ要ス

商法第三百八十三條ノ二第二項及第三百八十三條ノ三ノ規定ハ前項ノ倉荷證券ニ之ヲ準用ス

商法第三百八十三條ノ二第二項 倉荷證券ニハ預證券ニ關スル規定ヲ準用ス

商法第三百五十九條 預證券及ヒ質入證券ニハ左ノ事項及ヒ番號ヲ記載シ倉庫營業者之ニ署名スルコトヲ要ス

一 受寄物ノ種類、品質、數量及ヒ其荷造ノ種類、個數並ニ記號

二 寄託者ノ氏名又ハ商號

三 保管ノ場所

四 保管料

五 保管ノ期間ヲ定メタルトキハ其期間

六 受寄物ヲ保險ニ付シタルトキハ保險金額、保險期間及ヒ保險者ノ氏名又ハ商號

七 證券ノ作成地及ヒ其作成ノ年月日

同第三百六十條 倉庫營業者ガ預證券及ヒ質入證券ヲ寄託者ニ交付シタルトキハ其帳簿ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 前條第一號、第二號及ヒ第四號乃至第六號ニ掲ケタル事項

二 證券ノ番號及ヒ其作成ノ年月日

同第三百六十一條 預證券及ヒ質入證券ノ所持人ハ倉庫營業者ニ對シ寄託物ヲ分割シ且其

各部分ニ對スル預證券及ヒ質入證券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テハ所持人ハ前ノ預證券及ヒ質入證券ヲ倉庫營業者ニ返還スルコトヲ要ス
前項ニ定メタル寄託物ノ分割及ヒ證券ノ交付ニ關スル費用ハ所持人之ヲ負擔ス

同第三百六十二條 預證券及ヒ質入證券ヲ作りタルトキハ寄託ニ關スル事項ハ倉庫營業者ト所持人トノ間ニ於テハ其ノ證券ノ定ムル所ニ依ル

同第三百六十四條 預證券及ヒ質入證券ハ其記名式ナルトキト雖モ裏書ニ依リテ之ヲ讓渡シ又ハ之ヲ質入スルコトヲ得但證券ニ裏書ヲ禁スル旨ヲ記載シタルトキハ此限ニ在ラス

預證券ノ所持人カ未タ質入ヲ爲ササル間ハ預證券及ヒ質入證券ハ各別ニ之ヲ讓渡スルコトヲ得ス

同第三百六十五條 第三百三十四條ノ二及ヒ第三百三十五條ノ規定ハ預證券及ヒ質入證券ニ之ヲ準用ス

同第三百三十四條ノ二 貨物引換證ヲ作りタルトキハ運送品ニ關スル處分ハ貨物引換證ヲ以テスルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

農業倉庫業法

一四九

同第三百三十五條 貨物引換證ニ依リ運送品ヲ受取ルコトヲ得ヘキ者ニ貨物引換證ヲ引渡シタルトキハ其引渡ハ運送品ノ上ニ行使スル權利ノ取得ニ付キ運送品ノ引渡ト同一ノ效力ヲ有ス

同第三百六十五條 第三百三十四條ノ二及ヒ第三百三十五條ノ規定ハ預證券及ヒ質入證券ニ之ヲ準用ス

同第三百六十七條ノ二 預證券ノ所持人ハ寄託物ヲ以テ預證券ニ記載シタル債權額及ヒ利息ヲ辨濟スル義務ヲ負フ

同第三百七十九條 預證券及ヒ質入證券ヲ作りタル場合ニ於テハ之ト引換ニ非サレハ寄託物ノ返還ヲ請求スルコトヲ得ス

同第三百八十三條ノ三 倉荷證券ヲ以テ質權ノ目的ト爲シタル場合ニ於テ質權者ノ承諾アルトキハ寄託者ハ債權ノ辨濟期前ト雖モ寄託物ノ一部ノ返還ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ倉庫營業者ハ返還シタル寄託物ノ種類、品質及ヒ數量ヲ倉荷證券ニ記載シ且其旨ヲ帳簿ニ記載スルコトヲ要ス

第八條 農業倉庫業者ノ作成スル倉荷證券ニハ農業倉庫證券ナル文字

ヲ記載スルコトヲ要ス

農業倉庫業者ニ非サル者ノ作成スル預證券及質入證券又ハ倉荷證券ニハ農業倉庫證券ナル文字ヲ記載スルコトヲ得ス

第九條 混合保管ノ場合ニ於テハ農業倉庫業者ハ農業倉庫證券ニ其ノ旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第十條 寄託物ノ保管期間ハ寄託ノ日ヨリ六月以内トス

第一條第一項ニ規定スル寄託物ニ付テハ保管期間ヲ更新スルコトヲ得但シ寄託者ハ更新ノ際同條第一項ニ掲クル者タルコトヲ要シ其ノ期間ハ六月ヲ超ユルコトヲ得ス

第一條第三項ニ規定スル寄託物ニ付テハ同條第一項及第二項ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキ場合ニ限り保管期間ヲ更新スルコトヲ得其ノ期間ハ前項但書ニ同シ

第十一條 商法第三編第五章乃至第七章、第三百七十五條乃至第三百七十八條及第三百八十一條乃至第三百八十三條ノ規定ハ本法ニ別段

ノ定アル場合ヲ除クノ外農業倉庫業者ニ之ヲ準用ス

商法第三編 商行爲

第五章 仲立營業

第三百五條 仲立人トハ他人間ノ商行爲ノ媒介ヲ爲スヲ業トスル者ヲ謂フ

第三百六條 仲立人ハ其媒介シタル行爲ニ付キ當事者ノ爲メニ支拂其他ノ給付ヲ受クルコトヲ得ス但別段ノ意思表示又ハ慣習アルトキハ此限ニ在ラス

第三百七條 仲立人カ其媒介スル行爲ニ付キ見本ヲ受取りタルトキハ其行爲カ完了スルマテ之ヲ保管スルコトヲ要ス

第三百八條 當事者間ニ於テ行爲カ成立シタルトキハ仲立人ハ遲滯ナク各當事者ノ氏名又ハ商號、行爲ノ年月日及ヒ其要領ヲ記載シタル書面ヲ作り署名ノ後之ヲ各當事者ニ交付スルコトヲ要ス

當事者カ直チニ履行ヲ爲スヘキ場合ヲ除ク外仲立人ハ各當事者ヲシテ前項ノ書面ニ署名セシメタル後之ヲ其相手方ニ交付スルコトヲ要ス

前二項ノ場合ニ於テ當事者ノ一方カ書面ヲ受領セス又ハ之ニ署名セサルトキハ仲立人ハ遲滯ナク相手方ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

第三百九條 仲立人ハ其帳簿ニ前條第一項ニ掲ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

當事者ハ何時ニテモ仲立人カ自己ノ爲メニ媒介シタル行爲ニ付キ其帳簿ノ謄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

第三百十條 當事者ハ其氏名又ハ商號ヲ相手方ニ示ササルヘキ旨ヲ仲立人ニ命シタルトキハ仲立人ハ第三百八條第一項ノ書面及ヒ前條第二項ノ謄本ニ其氏名又ハ商號ヲ記載スルコトヲ得ス

第三百十一條 仲立人カ當事者ノ一方ノ氏名又ハ商號ヲ其相手方ニ示ササリシトキハ之ニ對シテ自ら履行ヲ爲ス責ニ任ス

第三百十二條 仲立人ハ第三百八條ノ手續ヲ終リタル後ニ非サレハ報酬ヲ請求スルコトヲ得ス

仲立人ノ報酬ハ當事者双方平分シテ之ヲ負擔ス

第六章 問屋營業

第三百十三條 問屋トハ自己ノ名ヲ以テ他人ノ爲メニ物品ノ販賣又ハ買入ヲ爲スヲ業トスル者ヲ謂フ

第三百十四條 問屋ハ他人ノ爲メニ爲シタル販賣又ハ買入ニ因リ相手方ニ對シテ自ら權利ヲ得義務ヲ負フ

問屋ト委託者トノ間ニ於テハ本章ノ規定ノ外委任及代理ニ關スル規定ヲ準用ス

第三百十五條 問屋ハ委託者ノ爲メニ爲シタル販賣又ハ買入ニ付キ相手方カ其債務ヲ履行

セサル場合ニ於テ自ラ其履行ヲ爲ス責ニ任ス但別段ノ意思表示又ハ慣習アルトキハ此限
ニ在ラス

第三百十六條 問屋カ委託者ノ指定シタル金額ヨリ廉價ニテ販賣ヲ爲シ又ハ高價ニテ買入
ヲ爲シタル場合ニ於テ自ラ其差額ヲ負擔スルトキハ其販賣又ハ買入ハ委託者ニ對シテ其
效力ヲ生ス

第三百十七條 問屋カ取引所ノ相場アル物品ノ販賣又ハ買入ノ委託ヲ受ケタルトキハ自ラ
買主又ハ賣主ト爲ルコトヲ得此場合ニ於テハ賣買ノ代價ハ問屋カ買主又ハ賣主ト爲リタ
ルコトノ通知ヲ發シタル時ニ於ケル取引所ノ相場ニ依リテ之ヲ定ム

前項ノ場合ニ於テモ問屋ハ委託者ニ對シテ報酬ヲ請求スルコトヲ得

第三百十八條 問屋カ買入ノ委託ヲ受ケタル場合ニ於テ委託者カ買入レタル物品ヲ受取ル
コトヲ拒ミ又ハ之ヲ受取ルコト能ハサルトキハ第二百八十六條ノ規定ヲ準用ス

(第二百八十六條) 商人間ノ賣買ニ於テ買主カ其目的物ヲ受取ルコトヲ拒ミ又ハ之ヲ
受取ルコト能ハサルトキハ賣主ハ其物ヲ供託シ又ハ相當ノ期間ヲ定メテ催告ヲ爲シタ
ル後之ヲ競賣スルコトヲ得此場合ニ於テハ遲滞ナク買主ニ對シテ其通知ヲ發スルコト
ヲ要ス

損敗シ易キ物ハ前項ノ催告ヲ爲サスシテ之ヲ競賣スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依リ賣主カ賣買ノ目的物ヲ競賣シタルトキハ其代價ヲ供託スルコトヲ

要ス但其全部又ハ一部ヲ代金ニ充當スルコトヲ妨ケス

第三百十九條 第三十七條及第四十一條ノ規定ハ問屋ニ之ヲ準用ス

(第三十七條) 代理商カ商行爲ノ代理又ハ媒介ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク本人ニ對シテ
其通知ヲ發スルコトヲ要ス

(第四十一條) 代理商ハ商行爲ノ代理又ハ媒介ヲ爲シタルニ因リテ生シタル債權ニ付キ
本人ノ爲メニ占有スル物又ハ有價證券ヲ留置スルコトヲ得但別段ノ意思表示アリタル
トキハ此限ニ在ラス

第三百二十條 本章ノ規定ハ自己ノ名ヲ以テ他人ノ爲メニ販賣又ハ買入ニ非サル行爲ヲ爲
スヲ業トスル者ニ之ヲ準用ス

第七章 運送取扱營業

第三百二十一條 運送取扱人トハ自己ノ名ヲ以テ物品運送ノ取次ヲ爲スヲ業トスル者ヲ謂

フ

運送取扱人ニハ本章ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外問屋ニ關スル規定ヲ準用ス

第三百二十二條 運送取扱人ハ自己又ハ其使用人カ運送品ノ受取、引渡、保管、運送人又
ハ他ノ運送取扱人ノ選擇其他運送ニ關スル注意ヲ怠ラサリシコトヲ證明スルニ非サレハ
運送品ノ滅失毀損又ハ延着ニ付キ損害賠償ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

第三百二十三條 運送取扱人カ運送品ヲ運送人ニ引渡シタルトキハ直チニ其報酬ヲ請求ス

ルコトヲ得

運送取扱契約ヲ以テ運送貨ノ額ヲ定メタルトキハ運送取扱人ハ特約アルニ非サレハ別ニ報酬ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百二十四條 運送取扱人ハ運送品ニ關シ受取ルヘキ報酬、運送貨其他委託者ノ爲メニ爲シタル立替又ハ前貸ニ付テノミ其運送品ヲ留置スルコトヲ得

第三百二十五條 數人相次テ運送ノ取次ヲ爲ス場合ニ於テハ後者ハ前者ニ代ハリテ其權利ヲ行使スル義務ヲ負フ

前項ノ場合ニ於テ後者カ前者ニ辨濟ヲ爲シタルトキハ前者ノ權利ヲ取得ス

第三百二十六條 運送取扱人カ運送人ニ辨濟ヲ爲シタルトキハ運送人ノ權利ヲ取得ス

第三百二十七條 運送取扱人ハ特約ナキトキハ自ラ運送ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ運送取扱人ハ運送人ト同一ノ權利義務ヲ有ス

運送取扱人カ委託者ノ請求ニ因リテ貨物引換證ヲ作りタルトキハ自ラ運送ヲ爲スモノト看做ス

第三百二十八條 運送取扱人ノ責任ハ荷受人カ運送品ヲ受取リタル日ヨリ一年ヲ經過シタルトキハルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

前項ノ期間ハ運送品ノ全部滅失ノ場合ニ於テハ其引渡アルヘカリシ日ヨリ之ヲ起算ス
前二項ノ規定ニ運送取扱人ハ惡意アリタル場合ニハ之ヲ適用セス

第三百二十九條 運送取扱人ノ委託者又ハ荷受人ニ對スル債權ハ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

第三百三十條 第三百三十八條及ヒ第三百四十三條ノ規定ハ運送取扱營業ニ之ヲ準用ス

(第三百三十八條) 貨幣、有價證券其他ノ高價品ニ付テハ荷受人カ運送ヲ委託スルニ當

テリ其種類及ヒ價額ヲ明示シタルニ非サレハ運送人ハ損害賠償ノ責ニ任セス

(第三百四十三條) 運送品カ到達地ニ達シタル後ハ荷受人ハ運送契約ニ因リテ生シタル

荷受人ノ權利ヲ取得ス

荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ運送人ニ對シ運送貨其他ノ費用ヲ支拂フ義務ヲ負フ

第三百七十五條 寄託者又ハ預證券ノ所持人ハ營業時間内何時ニテモ倉庫營業者ニ對シテ

寄託物ノ點檢若クハ其見本ノ摘出ヲ求メ又ハ其保存ニ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

質入證券ノ所持人ハ營業時間内何時ニテモ倉庫營業者ニ對シテ寄託物ノ點檢ヲ求ムルコトヲ得

第三百七十六條 倉庫營業者ハ自己又ハ其使用人カ受寄物ノ保管ニ關シ注意ヲ怠ラザリシ

コトヲ證明スルニアラサレハ其滅失又ハ毀損ニ付キ損害賠償ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

第三百七十七條 倉庫營業者ハ受寄物出庫ノ時ニ非サレハ保管料及ヒ立替金其他受寄物ニ

關スル費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得ス但受寄物ノ一部出庫ノ場合ニ於テハ割合ニ應ジテ其支拂ヲ請求スルコトヲ得

第三百七十八條 當事者カ保管ノ期間ヲ定メサリシトキハ倉庫營業者ハ受寄物入庫ノ日ヨリ六ヶ月ヲ經過シタル後ニ非サレハ其返還ヲ爲スコトヲ得ス但已ムコトヲ得サル事由アルトキハ此限ニ在ラス

第三百八十一條 第二百八十六條第一項及ヒ第二項ノ規定ハ寄託者又ハ預證券ノ所持人カ寄託物ヲ受取ルコトヲ拒ミ又ハ之ヲ受取ルコト能ハサル場合ニ之ヲ準用ス此場合ニ於テ實入證券ノ所持人ノ權利ハ競賣代金ノ上ニ存在ス

第三百七十條及ヒ第三百七十一條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百八十二條 第三百四十八條ノ規定ハ倉庫營業者ニ之ヲ準用ス

(第三百四十八條)

運送人ノ責任ハ荷受人カ留保ヲ爲サスシテ運送品ヲ受取リ且運送費其他ノ費用ヲ支拂ヒタルトキハ消滅ス但運送品ニ直チニ發見スルコト能ハサル毀損又ハ一部滅失アリタル場合ニ於テ荷受人カ引渡ノ日ヨリ二週間内ニ運送人ニ對シテ其通知ヲ發シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ運送人ニ惡意アリタル場合ニハ之ヲ適用セス

第三百八十三條

寄託物ノ滅失又ハ毀損ニ因リテ生シタル倉庫營業者ノ責任ハ出庫ノ日ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ時效ニ因リテ消滅ス前項ノ期間ハ寄託物ノ全部滅失ノ場合ニ於テハ倉庫營業者カ預證券ノ所持人、若シ其所持人カ知レサルトキハ寄託者ニ對シテ其滅失ノ通知ヲ發シタル日ヨリ之ヲ起算ス

前二項ノ規定ハ倉庫營業者ニ惡意アリタル場合ニハ之ヲ適用セス

第三百八十三條ノ二第二項 倉荷證券ニハ預證券ニ關スル規定ヲ準用ス

第三百八十三條ノ三

倉荷證券ヲ以テ質權ノ目的ト爲シタル場合ニ於テ質權者ノ承諾アルトキハ寄託者ハ債權ノ辨濟期前ト雖モ寄託物ノ一部ノ返還ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テ倉庫營業者ハ返還シタル寄託物ノ種類、品質及ヒ數量ヲ倉荷證券ニ記載シ且其旨ヲ帳簿ニ記載スコルトヲ要ス

第十二條 商法第三百七十六條ノ規定ハ受寄物ノ調製、改装又ハ荷造

ニ關シ農業倉庫業者ニ之ヲ準用ス

商法第三百七十六條 倉庫營業者ハ自己又ハ其使用人カ受寄物ノ保管ニ關シ注意ヲ怠ラサリシコトヲ證明スルニ非サレハ其滅失又ハ毀損ニ付損害賠償ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

第十三條 農業倉庫業者業務規程ヲ變更セムトスルトキハ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第十四條 農業倉庫業者ニハ所得稅、營業收益稅及營業稅ヲ課セス

第十四條ノ二 農業倉庫業者ノ農業倉庫又ハ其ノ敷地ニ關スル權利ノ取得ニ關シテハ地方稅ヲ課スルコトヲ得ス

第十五條 行政官廳公益上必要ト認ムルトキハ農業倉庫業者ニ對シ其ノ指定スル穀物又ハ繭ノ寄託ヲ受ケ、受寄物ノ検査其ノ他ノ行爲ヲ爲スヘキコトヲ命スルコトヲ得

第十六條 行政官廳ハ農業倉庫業者ニ對シ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ書類、帳簿又ハ業務執行若ハ財産ノ狀況ヲ検査シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十七條 行政官廳農業倉庫業者ノ業務執行若ハ財産ノ狀況ニ依リ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキ、農業倉庫業者ノ行爲カ法令若ハ業務規程ニ違反シタルトキ又ハ其ノ行爲カ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ事業ノ停止ヲ命シ又ハ認可ヲ取消スコトヲ得

第十八條 農業倉庫業者タル法人ノ理事又ハ之ニ準スヘキ者本法又ハ本法ニ基キテ爲ス命令又ハ處分ニ違反シタルトキハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ之

ヲ準用ス

非訟事件手續法第二百六條、民法第八十四條、第一千七百七條及ヒ民法施行法第二十二條及ヒ商法第十八條第二項、第二百六十二條、第二百六十二條ノ二、第五百三十六條及ヒ商法施行法第十一條第二項、第二十七條、第三十九條第二項、第五十四條、第六十條第二項、第六十九條、第七十五條第三項、第八十七條ニ定メタル事件ハ過料ニ處セラルヘキ者ノ住所地方裁判所ノ管轄トス

第二百七條 過料ノ裁判ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スヘシ
裁判所ハ裁判ヲ爲ス時當事者ノ陳述ヲ聽キ檢事ノ意見ヲ求ムヘシ
當事者及ヒ檢事ハ過料ノ裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

手續ノ費用ハ過料ニ處スル言渡アリタル場合ニ於テハ其言渡ヲ受ケタル者ノ負擔トシ其
他ノ場合ニ於テハ國庫ノ負擔トス
抗告裁判所カ當事者ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタルトキハ抗告手續ノ費用及ヒ前審ニ
於テ當事者ノ負擔ニ歸シタル費用ハ國庫ノ負擔トス

第二百八條 過料ノ裁判ハ檢事ノ命令ヲ以テ之ヲ執行ス此命令ハ執行力ヲ有スル債務名義ト同一ノ效力ヲ有ス
過料ノ裁判ノ執行ハ民事訴訟法第六編ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲ス但執行ヲ爲ス前裁判ノ送

第十九條 本法ニ於テ聯合農業倉庫業者トハ農業倉庫業者カ第一條第一項及第二項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル物品ヲ本法ニ依リ倉庫ニ保管スル者ヲ謂フ

聯合農業倉庫業者ハ他ノ聯合農業倉庫業者カ前項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル物品又ハ販賣組合若ハ販賣組合聯合會カ賣却スル穀物、繭、木炭其他勅令ヲ以テ指定スル物品ヲ保管スルコトヲ得
聯合農業倉庫業者ハ前二項ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキ場合ニ限り業務規程ノ定ムル所ニ依リ農業倉庫業者カ第一條第三項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル物品、販賣組合若ハ販賣組合聯合會カ賣却スル物品又ハ命令ヲ以テ指定スル營利ヲ目的トセサル法人カ賣却若ハ賣却ノ斡旋ヲ爲ス物品ヲ保管スルコトヲ得他ノ聯合農業倉庫業者カ本項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル物品ニ付亦同シ
前項ノ規定ニ依リ命令ヲ以テ指定スル營利ヲ目的トセサル法人ノ爲ニ物品ノ保管ヲ爲スコトヲ得ル聯合農業倉庫業者ハ命令ヲ以テ之ヲ指定ス

第二十條 産業組合聯合會ニ非サレハ聯合農業倉庫業者タルコトヲ得

ス

第二十一條 聯合農業倉庫業者タル産業組合聯合會ハ産業組合法ニ規定スルモノノ外第二條(第二十六條第一項ノ規定ニ依リ準用)及第十九條ニ規定スル事業ヲ目的ト爲スコトヲ得

前項ノ産業組合聯合會ハ所屬組合又ハ所屬聯合會ノ爲ニ前項ノ事業ヲ爲スノ外附隨トシテ所屬組合若ハ所屬聯合會ニ非サル組合又ハ命令ヲ以テ指定スル營利ヲ目的トセサル法人ノ爲ニ之ヲ爲スコトヲ得但シ第二條第四號乃至第六號(第二十六條第一項ノ規定ニ依リ準用)ノ事業ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十二條 農業倉庫業者カ寄託者又ハ農業倉庫證券ノ所持人及受寄物ノ質權者アル場合ニ於テハ其ノ質權者ノ承諾ヲ得テ其ノ受寄物ヲ聯合農業倉庫業者ニ寄託シタル場合ニ於テハ其ノ寄託ニ因リ生シタル農業倉庫業者ノ權利義務ハ當初ノ寄託者又ハ農業倉庫證券ノ所持人ニ移轉シ當初ノ寄託ハ將來ニ向テ其ノ効力ヲ失フ

第二十三條 農業倉庫業者カ其ノ受寄物ヲ聯合農業倉庫業者ニ寄託セムトスル場合ニ於テ其ノ受寄物ノ農業倉庫證券アルトキハ將來ニ向テ其ノ證券ノ裏書ヲ禁止スルコトヲ得

農業倉庫業者ハ前項ノ證券ノ裏書ヲ禁止スルニ非サレハ受寄物ヲ聯合農業倉庫業者ニ寄託スルコトヲ得ス

第二十四條 聯合農業倉庫業者ハ其ノ受寄物ノ農業倉庫證券ナキ旨ノ農業倉庫業者ノ證明書又ハ前條第二項ノ規定ニ依リ裏書ヲ禁止セラレタル證券ト引換ニ非サレハ其ノ受寄物ノ聯合農業倉庫證券ヲ交付スルコトヲ得ス

第二十五條 前三條ノ規定ハ聯合農業倉庫業者カ其ノ受寄物ヲ他ノ聯合農業倉庫業者ニ寄託スル場合ニ之ヲ準用ス

第二十六條 第二條、第三條、第六條乃至第九條、第十條第一項及第十一條乃至第十八條ノ規定ハ聯合農業倉庫業者ニ之ヲ準用ス但シ第十二條第六號中農業倉庫業者トアルハ農業倉庫業者又ハ聯合農業倉庫業者、農業倉庫證券トアルハ農業倉庫證券又ハ聯合農業倉庫證券トシ第八條中農業倉庫證券トアルハ聯合農業倉庫證券トス
第一條第二項ノ規定ハ第十九條第一項及第二項ニ規定スル寄託物ニ之ヲ準用ス
第十條第二項ノ規定ハ第十九條第一項又ハ第二項ニ規定スル寄託物

ニ、同條第三項ノ規定ハ第十九條第三項ニ規定スル寄託物ニ之ヲ準用ス但シ聯合農業倉庫業者カ第十九條第一項及第二項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル第一條第二項ノ物品ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(大正六年八月十八日勅令第百十號ヲ以テ同年九月一日ヨリ施行)

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(大正十五年七月十四日勅令第百五十七號ヲ以テ同年九月一日ヨリ施行)
本法施行ノ際現ニ農業倉庫業者カ従前ノ第一條第三項ノ規定ニ依リ保管スル物品ニ付テハ仍従前ノ例ニ依ル
本法施行ノ際現ニ存スル預證券及質入證券ニ付テハ仍従前ノ例ニ依ル
附 則 (昭和九年法律第一號)
本法施行ノ期日ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

二七 農業倉庫業法施行規則

大正六年八月十五日農商務省令第十五號
改正大正九年六月八日農商務省令第六號
改正大正十五年七月十五日農林省令第十九號
改正昭和八年九月一日同第十八號

第一條 農業倉庫業ノ認可申請書ニハ業務規程ノ外左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添付スヘシ

- 一 申請ノ理由
- 二 倉庫ニ於テ取扱フヘキ物品ノ種類別數量ノ豫定
- 三 倉庫ノ所在地
- 四 倉庫ノ棟數、建坪、主要ナル構造又ハ工事及收容力並倉庫經營ニ要スル敷地ノ面積ニ關スル事項
- 五 倉庫及敷地ハ申請者ノ所有ニ係ルモノナリヤ否ヤノ別及所有ニ係ラサルモノニ付テハ其ノ使用ノ權利ニ關スル事項
- 六 倉庫ハ既設ノモノナリヤ否ヤノ別並新ニ建築、改築又ハ修繕ヲ爲スモノニ付テハ其ノ竣工ノ豫定期日及既設ノモノニ付テハ建築ノ時期
- 七 附屬ノ設備ニ關スル事項
- 八 貸付事業ヲ爲ス場合ニ於テハ貸付金總額ノ豫定及其ノ調達方法

九 起業費及一箇年ノ收支概算

十 申請者タル法人ニ於テ農業倉庫業開始ノ決定ヲ要スルモノニ在リテハ其ノ決定ヲ證スル書面

十一 公益法人ニ在リテハ定款又ハ寄附行爲及財産目錄

十二 農業倉庫業法第一條第一項第二號ノ農業倉庫業者タラムトスル者ニ在リテハ其ノ區域内ニ於ケル販賣組合及販賣組合聯合會

第二條 農業倉庫業者ノ業務規程ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ

- 一 事業ノ種類及農業倉庫業法第一條第三項ノ規定ニ依ル保管ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ旨
- 二 保管スヘキ物品ノ名稱
- 三 農業倉庫業法第一條第三項ノ規定ニ依リ保管スヘキ物品ニ付保管ノ順位ヲ定メタルトキハ其ノ順位並同條第一項及第二項ノ規定ニ依ル保管上必要アルトキハ何時ニテモ同條第三項ノ規定ニ

- 依ル保管物ノ出庫ヲ爲サシメ得ヘキ旨及其ノ出庫ノ順位
- 四 保管ノ方法及保管上特殊ノ作業ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ作業
- 五 保管料ニ關スル規定
- 六 保管期間ニ關スル規定
- 七 聯合農業倉庫業者又ハ倉庫營業者ニ受寄物ノ寄託ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ旨及寄託スヘキ聯合農業倉庫業者又ハ倉庫營業者
- 八 受寄物ヲ聯合農業倉庫業者ニ寄託スル場合ニ於ケル受寄物及農業倉庫證券ノ取扱並受寄物ヲ聯合農業倉庫業者ニ引渡ス迄ノ間
- 九 受寄物ノ入庫及出庫ニ關スル規定
- 十 證券發行ニ關スル規定
- 十一 保險ニ關スル定アルモノニ付テハ之ニ關スル規定
- 十二 避クヘカラサル事由ニ依ル減量ノ負擔ニ關スル規定

- 十三 受寄物ノ検査ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定
- 十四 農業倉庫業法第二條ノ規定ニ依ル事業ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定
- 十五 産業組合又ハ産業組合聯合會ニ於テ組合員又ハ所屬組合若ハ所屬聯合會ニ非サル者ノ爲ニ事業ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定
- 十六 剩餘金又ハ損失金ニ關スル規定
- 第三條 混合保管ヲ爲スモノニ在リテハ前條ノ事項ノ外業務規程中ニ左ノ事項ヲ規定スヘシ
 - 一 混合保管ノ範圍
 - 二 受寄物ノ返還ニ關スル規定
- 第四條 農業倉庫業法第四條第二項ノ規定ニ依リ農業倉庫業者タルコトヲ得ル者ハ繭ノ販賣ヲ目的トスル販賣組合聯合會ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ限ル